

Ⅲ章. 地域特性を活かした景観づくり

1. 景観づくりの基本的方向

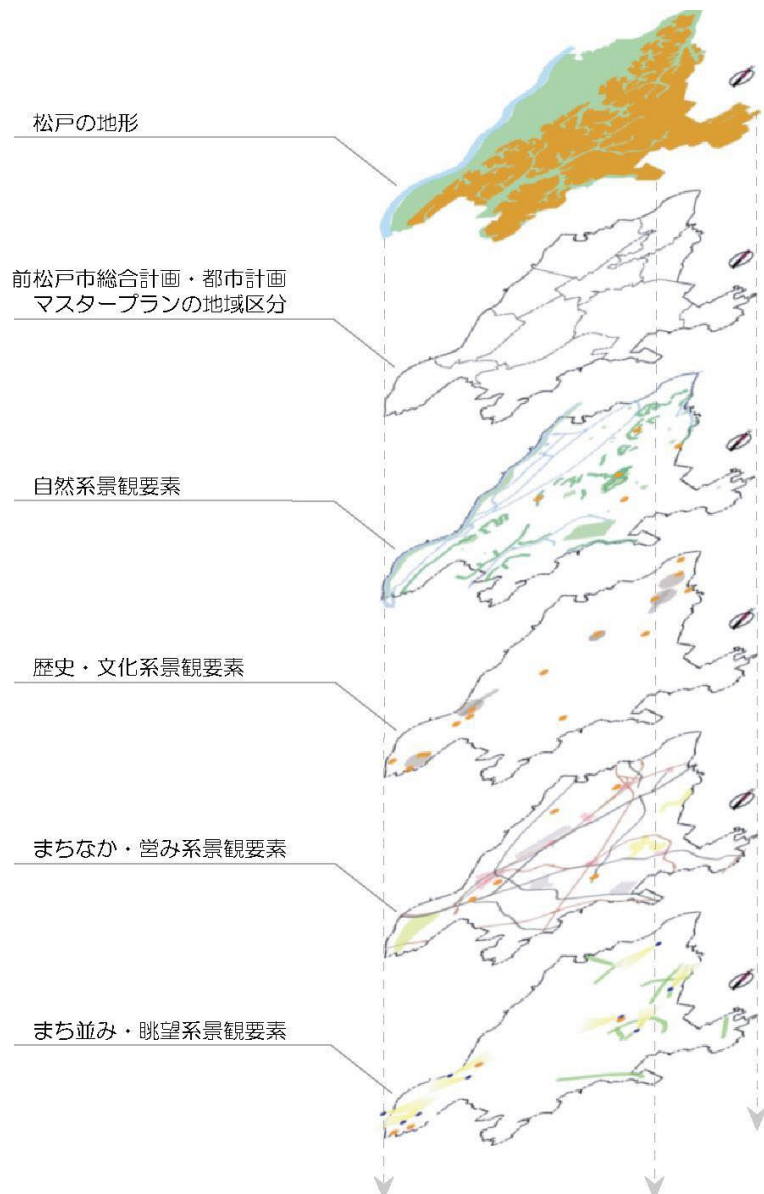
(1) 景観要素の整理

本市の景観はみどり豊かな斜面林や悠々と流れる河川などの自然要素やこれらと密接な関係を持つ歴史・文化的な要素、活気ある人々の営みやまち並み、豊かな眺望などの要素があります。

I章で抽出した「自然（水とみどり）系」「歴史・文化系」「まちなか・営み系」「まち並み・眺望系」の景観要素に、本市の大きな特徴である台地と低地、谷津で形成された地形を重ね合わせ、浮き彫りとなった景観要素を踏まえ景観特性とします。

景観特性を整理すると、地形上の特徴が同質的にまとまった「ゾーン」や、河川や斜面林、幹線道路のように地域を貫く帯状の「ベルト」、本市の代表的な景観といえる地区である「景観拠点」、広がりある眺望を得られる「眺望景観ポイント」などが浮かび上がります。

■景観要素の連結イメージ



(2) 景観づくりの基本的方向の捉え方

松戸らしさのある景観づくりを実現するために、基本理念、基本方針、行動方針を受けて、①景観特性、②地域特性、という切り口によって景観づくりの基本的方向を捉えます。

①景観特性ごとの 景観づくり方針	「自然（水とみどり）系」「歴史・文化系」「まちなか・営み系」「まち並み・眺望系」の景観要素に本市の大きな特徴である「地形」を切り口として踏まえ、浮き彫りとなった「景観特性ごとの景観づくり方針」を定めます。
②地域特性ごとの 景観づくり方針	市民生活に身近な 11 地域といった地域特性からの分類により、「地域特性ごとの景観づくり方針」を定めます。

基本理念

基本方針・行動方針

景観づくりを行うための基本的方向

①景観特性ごとの景観づくり方針（P. 42～）

景観ゾーン	○水辺の景観ゾーン ○斜面林と台地の景観ゾーン ○台地の景観ゾーン ○みどりと農の景観ゾーン ○中心市街地景観ゾーン
景観ベルト	○江戸川景観ベルト ○斜面林景観ベルト ○中小河川景観ベルト ○主要幹線道路景観ベルト
景観拠点	○商業地景観拠点 ○歴史的景観拠点 ○住宅地景観拠点 ○みどりの交流景観拠点
眺望景観 ポイント	○水辺からの眺望景観ポイント ○高台からの眺望景観ポイント ○沿道の眺望景観ポイント

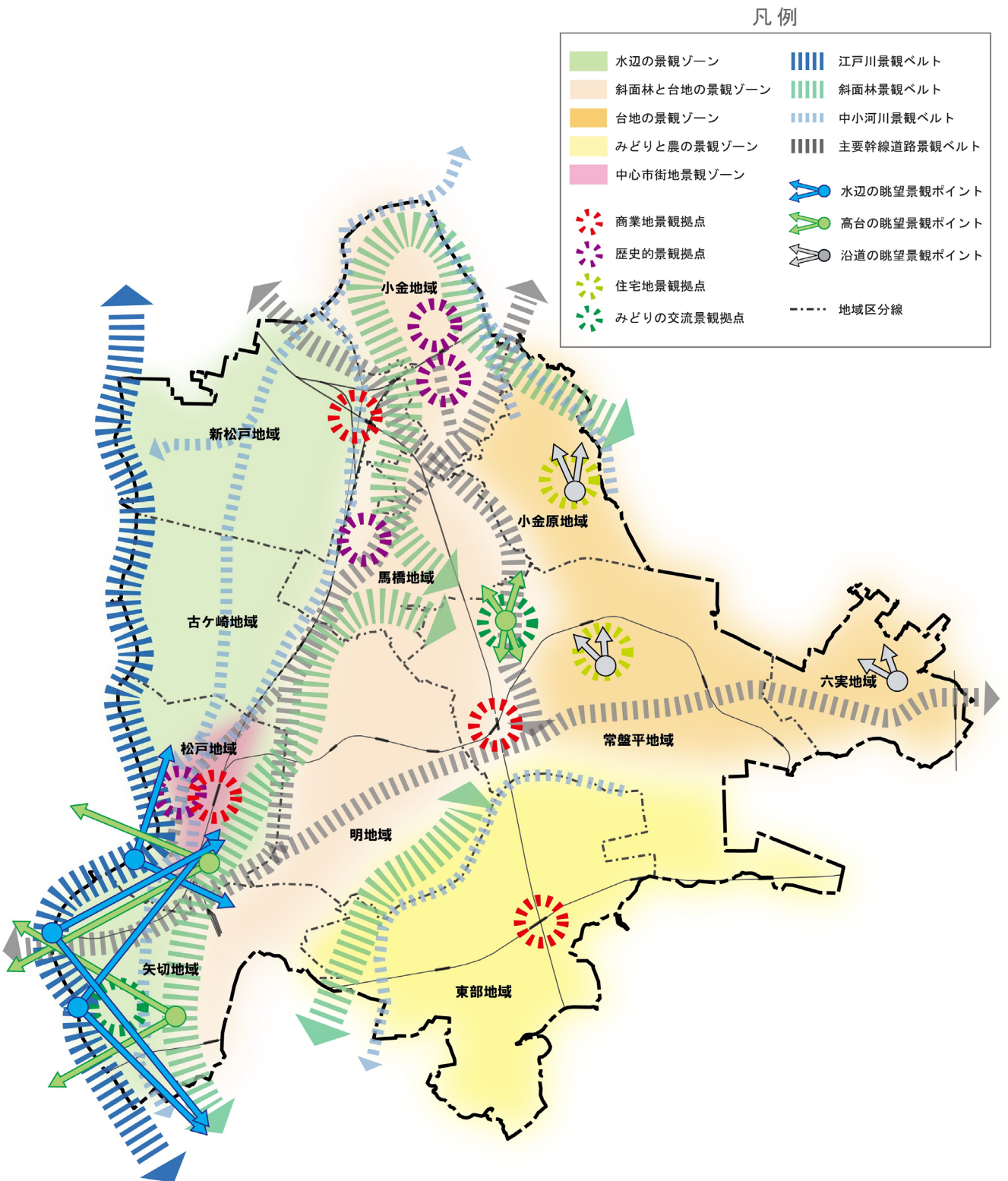
景観ゾーン：地形上の特徴が同質的にまとまりのある範囲
 景観ベルト：河川や斜面林、幹線道路など地域を貫く帯状の景観
 景観拠点：松戸の代表的な景観といえる地区
 眺望景観ポイント：広がりある眺望を得られる地点とその眺望方向

②地域特性ごとの景観 づくり方針（P. 53～）

1. 松戸地域
2. 矢切地域
3. 明地域
4. 古ヶ崎地域
5. 新松戸地域
6. 小金地域
7. 馬橋地域
8. 小金原地域
9. 常盤平地域
10. 六実地域
11. 東部地域

*11 地域は、平成 21 年 3 月の松戸市景観基本計画策定時の松戸市総合計画・松戸市都市計画マスタープランで設定されたものです。また、景観における地域は、自然景観・文化的景観・歴史的景観といった景観要素や、視点場と視対象の関係から分けることから、当時の地域区分を引継ぎ使用します。

■景観づくり方針図



■景観づくり方針と都市計画マスタープランの地域区分との関係

市民にとって身近な生活範囲から景観づくりを進めていくために、本市の景観を構成している景観特性ごとの方針（p.42～）として、「景観ゾーン」「景観ベルト」「景観拠点」「眺望景観ポイント」と11地域の関係を整理します。

		景観特性ごとの景観づくり方針															
		景観ゾーン					景観ベルト				景観拠点				眺望景観ポイント		
		水辺の景観ゾーン	斜面林と台地の景観ゾーン	台地の景観ゾーン	みどりと農の景観ゾーン	中心市街地景観ゾーン	江戸川景観ベルト	斜面林景観ベルト	中小河川景観ベルト	主要幹線道路景観ベルト	商業地景観拠点	歴史的景観拠点	住宅地景観拠点	みどりの交流景観拠点	水辺からの眺望景観ポイント	高台からの眺望景観ポイント	沿道の眺望景観ポイント
1	松戸地域																
2	矢切地域																
3	明地域																
4	古ヶ崎地域																
5	新松戸地域																
6	小金地域																
7	馬橋地域																
8	小金原地域																
9	常盤平地域																
10	六実地域																
11	東部地域																

*景観ゾーンは明確な区域分けをしていないので、およその範囲となります。

■景観づくりの考え方

「景観特性ごとの景観づくり方針」と、「地域ごとの景観づくり方針」を定め、市民・事業者・行政がそれぞれの立場で担い、または協働して良好な景観づくりを着実にを行うための考え方を示します。

行政は、景観法に基づく景観計画を策定し、届出等により大規模開発等の景観指導を行う際には、景観ベルトや眺望景観ポイントなど地域をまたがるような景観の特性にも考慮します。

2. 景観特性ごとの景観づくり方針

ここでは、本市を、景観特性上分類した5つの景観ゾーン、河川や道路など地域を貫いている带状の景観特性である4つの景観ベルト、景観上まとまりのある一定の地区・範囲である4つの景観拠点、広がりのある眺望を得られる地点とその方向を示す3つの眺望景観ポイントとして位置づけます。

また、「基本理念」を実現するために設定した「基本方針」の考え方にに基づき、景観ゾーンごとの「景観づくり方針」を示します。

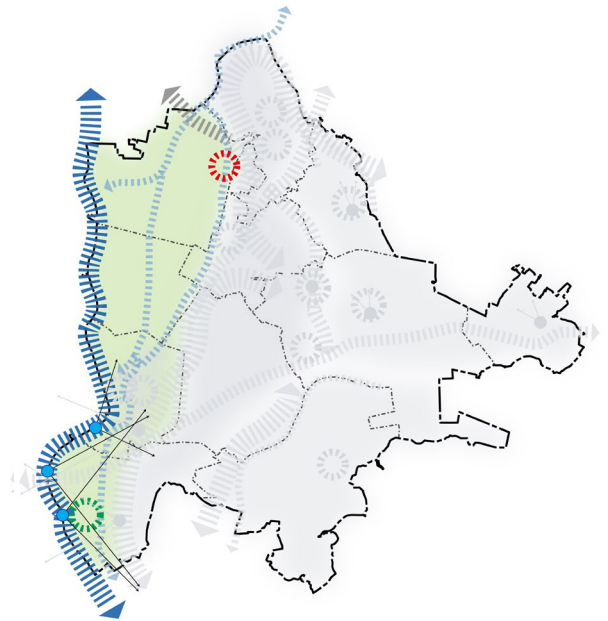
(1) 水辺の景観ゾーン

1) ゾーンの特徴

「水辺の景観ゾーン」は本市の自然景観を代表する江戸川や坂川、新坂川、六間川などの中小河川や水路が数多く流れる低地部を指します。

これらの河川は、古くから市民生活と深く関わり、身近な自然環境として親しまれています。特に、農業において豊かな実りをもたらし、今日でも矢切地区などではまとまった農地を見ることができます。このゾーンの特徴は、広がりや奥行きがある河川空間と農業空間を身近に感じることができ、水辺の動植物や農作物などのめぐみを感じることができる点です。

また、松戸の中心市街地に近い地域は商業・業務施設の建物と並行して河川が流れ、親しみやすいまち並みを形成しています。



2) 景観づくり方針－基本方針との関係

●身近にうるおいを感じ、心のよりどころを感じることでできる豊かな水辺の景観づくり

水辺の景観ゾーン	基本方針
水辺と低地、背後の斜面林の一体的な地形を阻害しない景観づくりのルールをつくろう。	地域への愛着とおもいやりのある景観づくりのルールをつくろう
水辺で行っている清掃や植樹・花植え・イベントなどの川を活かした様々な市民活動を通じて身近な景観をつくっていこう。	市民一人ひとりが暮らしと営みの中で担い手となり、協働して景観をつくっていこう
水辺を活かした、人と動植物が共存する空間として、環境を再生し、次世代に継承しよう。	景観を市民の共有財産として次世代に継承しよう
まとまった農地の開放感と水辺のうるおいある景観を守り、育てよう。	みどり豊かな景観を守り、育てよう
江戸川河川敷や農業空間を大切にし、人々の心に開放感を与える豊かな景観づくりを考えよう。	歴史に培われた文化を大切に、品格ある景観づくりを考えよう

3) 景観ベルト

①江戸川景観ベルト

「江戸川景観ベルト」は県境となる江戸川と河川敷を合わせた延長10km程度の帯状の部分指します。江戸川は、本市の骨格となる市民の多くが親しみをもつ代表的な景観要素です。

河川敷では、夏は夜空を彩る花火大会が開催され、毎年多くの人々でにぎわいます。春・秋は、ポピーやコスモスを育て河川敷を花で彩る市民活動が行われるなど、市民に親しまれる交流の場となっています。

今後もこうした市民活動を支援しながら、市民の景観に対する意識を育んでいくことが大切です。



江戸川河川敷のポピー畑

②中小河川景観ベルト

市内には多くの中小河川があり、特に江戸川沿いに集中しています。その大半が掘込み形式で、護岸や水際は単調になる傾向にあります。しかし、近年では、様々な取り組みにより水質も改善され、川沿いの樹木や水面がまちなみにうるおいを与えています。

また、まこも池周辺の水辺では、水鳥や水生植物なども見られ、今後も多様な生物の生息空間として保全していくことが重要です。

坂川、新坂川、横六間川など多様な水辺環境を活かして、自然に配慮した魅力ある親水空間の環境整備を進めるとともに、地元の市民が行っている清掃や植樹・花植え・イベントなど川を活かしたまちづくりを積極的に支援していくことが重要です。



新坂川



まこも池

4) 景観拠点

- ①みどりの交流景観拠点－矢切農地一帯 (P60 参照)
- ②商業地景観拠点－新松戸駅周辺 (P67 参照)

5) 眺望景観ポイント

①水辺からの眺望景観ポイント

矢切の渡しの船着場付近や国道6号線、常磐線の車窓からの景観など、江戸川河川敷一帯の開放的な場所では、松戸駅周辺の都市景観とその背後にある浅間神社、戸定邸などのある斜面林を一体的に望むことができます。

今後も雄大な水辺の開放感とうるおいを感じることでできる眺望景観づくりを目指します。

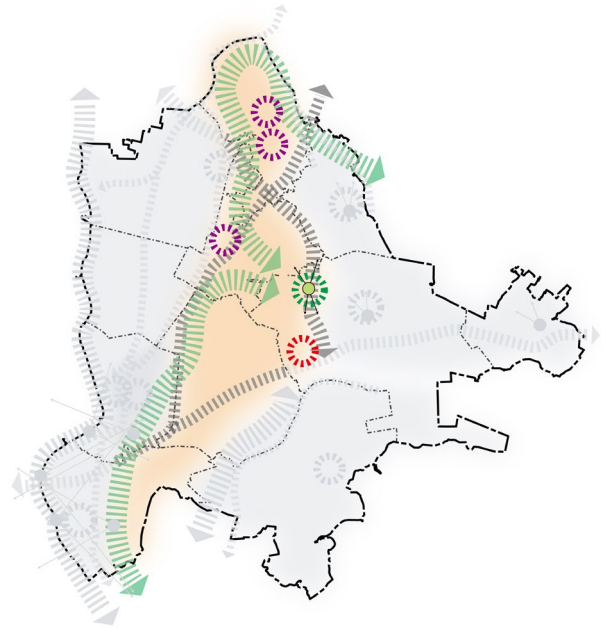
(2) 斜面林と台地の景観ゾーン

1) ゾーンの特徴

「斜面林と台地の景観ゾーン」は、矢切地区の斜面林から浅間神社、戸定が丘歴史公園、21世紀の森と広場といった大規模な公園など台地と谷津から構成されている部分を中心に、その台地上に広がる住宅地等を含めた一体的な地域を指します。

このゾーンは、地形が複雑で急傾斜の斜面林と昔ながらの急な勾配の坂道を見ることができます。特に上本郷地域は急な崖を間近に見ることができます。こうした立体的な地形があることにより、豊かな眺望が得られ、低地部の景観を縁取るみどりが残されています。

斜面林と連続する台地上には古代の暮らしや文化を物語る貝塚や古墳をはじめ、歴史的な遺跡が多く残されています。また、北小金駅周辺には、地域の成り立ちや人々の暮らしなどの歴史を伝える社寺なども点在しています。



2) 景観づくり方針－基本方針との関係

●斜面林の連続性、高台からの眺望景観に配慮した親しみの持てる景観づくり

斜面林と台地の景観ゾーン	基本方針
台地部からの眺望を阻害しないような景観づくりのルールをつくろう。	地域への愛着とおもいやりのある景観づくりのルールをつくろう
みどりの保全や歴史研究などを市民と協働して松戸らしい景観をつくっていこう。	市民一人ひとりが暮らしと営みの中で担い手となり、協働して景観をつくっていこう
斜面林の立体的なみどりを市民の共有財産として次世代に継承しよう。	景観を市民の共有財産として次世代に継承しよう
21世紀の森と広場を核に、松戸らしさを表す斜面林や住宅地の豊かなみどりを守り、育てよう。	みどり豊かな景観を守り、育てよう
旧小金宿の歴史遺産を大切に、周囲に調和する景観づくりを考えよう。	歴史に培われた文化を大切に、品格ある景観づくりを考えよう
21世紀の森と広場を中心とした、芸術・創造性の豊かな景観づくりを考えよう。	芸術・創造性の豊かな景観づくりを考えよう

3) 景観ベルト

①斜面林景観ベルト

「斜面林景観ベルト」は、本市の地形を低地と台地に二分する境界にある景観要素で、江戸川と並行して市域をほぼ縦断して帯状に連なる延長 10 数 km 程度の帯状の部分指します。

南は市川市に始まり、栗山浄水場、野菊苑、戸定邸、浅間神社、千葉大学、松戸中央公園、21 世紀の森と広場、東漸寺、本土寺、大谷口歴史公園、幸田の斜面林に至るみどりの軸は本市の背骨となる景観です。今後も地形を活かしたみどりのうるおいを感じることができる景観づくりを目指します。

また、みどりだけでなく、湧水ポイントもあります。台地から低地、河川空間へという景観の背景には水循環があり、その保全があって初めて「水辺のうるおい」が生まれます。湧水こそは台地の恵みであり、うるおいあふれる景観の保全に努めます。

なお、斜面林に沿って多くの縄文時代の貝塚や、後の時代の古墳、社寺などがあることから、古い時代から居住が進み、文化が栄えた歴史的な軸であり、これら歴史要素についても地区の特色として活かして行きます。



矢切の斜面林



矢切の庚申塔

②主要幹線道路景観ベルト

「主要幹線道路景観ベルト」は市を貫く国道 6 号線および県道松戸鎌ヶ谷線、松戸都市計画道路 3・3・7 号横須賀紙敷線とその沿道部分で構成されます。道路は移動空間の役割だけでなく、沿道の商業施設や公共公益施設など人々の交流を育むネットワークとして重要な役割を担っており、また、車窓から眺める景観を通してまちの印象を人々に与えています。

地域ごとに個性があり、さまざまな表情があること、連続的な景観が楽しめること、人々の活動と交流の場であることなどが、主要幹線道路景観ベルトの特徴です。

また、幹線道路は見通しの良い視点場でもあり、眺望景観を楽しめます。特に自動車で移動する場合、連続する眺望によって通行する人々の目を楽しませると同時に、人々に対してまちを印象づける大きな要素となっていることから、秩序ある沿道景観づくりが望まれます。

今後は沿道の商業施設等が掲出する屋外広告物やショーウィンドウやライトアップなどの夜間照明、マンションなどの大規模建築物に対するルールづくりを進めて規制誘導を図ること、また時折見せる斜面林の貴重なみどりの景観を大切にしたい沿道景観づくりを目指します。



国道 6 号線



沿道にまとまったみどりを見る

4) 景観拠点

- | | |
|------------------------|----------|
| ①歴史的景観拠点－旧小金宿周辺 | (P70 参照) |
| ②歴史的景観拠点－馬橋駅周辺 | (P72 参照) |
| ③みどりの交流景観拠点－21 世紀の森と広場 | (P78 参照) |
| ④商業地景観拠点－新八柱駅・八柱駅周辺 | (P79 参照) |

5) 眺望景観ポイント

①高台からの眺望景観ポイント

矢切から松戸へ連なる斜面林の高台には、富士山や秩父から足柄箱根の山々を望むことのできる「野菊苑」や、雄大な江戸川の流れや筑波山などを望むことのできる「戸定邸」（第 11 代水戸藩主であった徳川昭武の別邸）があります。

また、21 世紀の森と広場に架かる森の橋・広場の橋からは、広い範囲で斜面林や豊かなみどりを眺望することができ、多くの市民に親しまれています。



豊かなみどりが眺望できる「広場の橋」のテラス

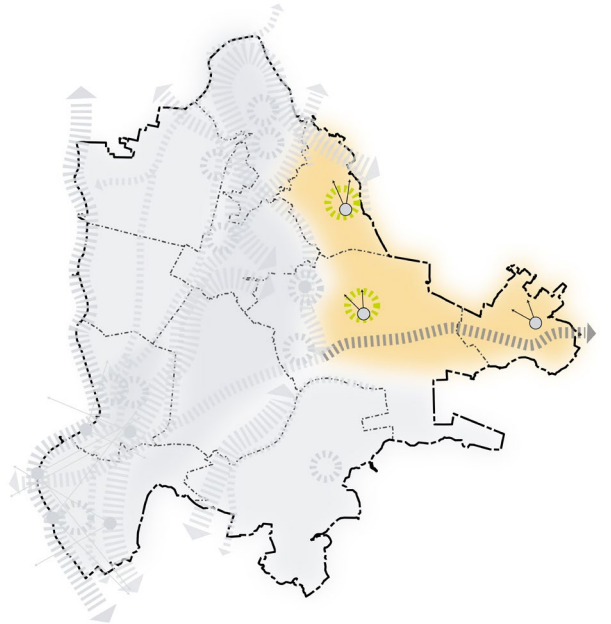
(3) 台地の景観ゾーン

1) ゾーンの特徴

「台地の景観ゾーン」は、かつて小金牧（中野牧）と呼ばれ、野馬除土手が点在している比較的平坦でみどり豊かな台地が連続する地域を指します。

このゾーンの常盤平や小金原では、昭和 30 年代以降の土地区画整理事業により、大規模な団地造成が行われ、景観が一変した歴史があります。起伏の激しい地形がなだらかな台地として開発された住宅地では、商業エリアや近隣公園、地区公園の整備など総合的にまちづくりが行われ、多種の街路樹も見事に成長し、季節ごとに市民に憩いと喜びを与えています。

また、柏市との市境の一部では斜面林がみどりの縁取りを形づくっており、上富士川周辺の自然資源や、根本内歴史公園など歴史的な背景を持つ場所もあります。さらに、梨を中心とした観光農園が点在する五香・六実地域など松戸らしい農の景観も見られます。



2) 景観づくり方針－基本方針との関係

●地形を活かした住宅地や商業地、沿道の豊かなみどりが調和する景観づくり

台地の景観ゾーン	基本方針
みどり豊かな住宅地が実現する景観づくりのルールをつくろう。	地域への愛着とおもいやりのある景観づくりのルールをつくろう
みどりに係る地域活動などを行う市民団体と協働してみどり豊かな景観をつくっていこう。	市民一人ひとりが暮らしと営みの中で担い手となり、協働して景観をつくっていこう
成熟したみどりを市民の共有財産として次世代に継承しよう	景観を市民の共有財産として次世代に継承しよう
みどり豊かな街路樹の眺望景観を守り、育てよう	みどり豊かな景観を守り、育てよう
高度成長期の新しい暮らし方を伝えた団地などのたたずまいを大切にし、創造性のある豊かな景観づくりを考えよう。	歴史に培われた文化を大切にし、品格ある景観づくりを考えよう 芸術・創造性の豊かな景観づくりを考えよう

3) 景観ベルト

①主要幹線道路景観ベルト

当ゾーンの「主要幹線道路景観ベルト」は県道松戸鎌ヶ谷線とその沿道部分で構成されます。かつては、生街道（鮮魚街道）と呼ばれ、銚子に揚げた魚を利根川の水運で布佐・白井町へ運び、そこから陸路を経て、江戸川の納屋河岸から江戸川の水運で江戸に運ぶまでの街道として発展した歴史があります。

現在では、新八柱駅や八柱駅、五香駅、六実駅などに近接していることから商業施設やマンションが多く、地域住民の生活と交流の場となっている特徴があります。

今後は沿道の商業施設等が掲出する屋外広告物やショーウィンドウやライトアップなどの夜間照明、マンションなどの大規模建築物に対するルールづくりを進めて規制誘導を図った沿道景観づくりを目指します。

4) 景観拠点

①住宅地景観拠点－小金原団地一帯（P74 参照）

②住宅地景観拠点－常盤平団地一帯（P80 参照）

5) 眺望景観ポイント

①沿道の眺望景観ポイント

本市の道路景観の特徴は、豊かな街路樹を持つ道路が多く整備されており、四季折々で市民を楽しませてくれる点にあります。特に、当ゾーンは計画的に整備された幹線道路が多く、常盤平の「けやき通り」や小金原の「あめりかふう通り」「いちよう通り」、六実の「さくら通り」などは、街路樹と相まって眺望景観が得られます。



小金原のあめりかふう通り



小金原のいちよう通り

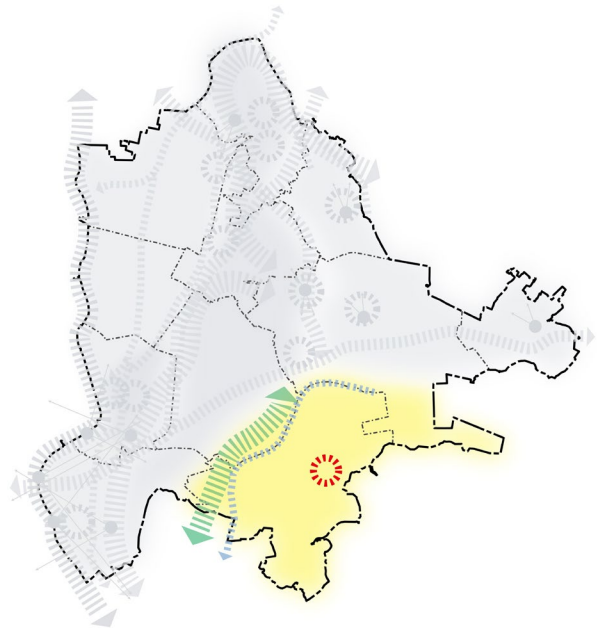
(4) みどりと農の景観ゾーン

1) ゾーンの特徴

「みどりと農の景観ゾーン」は台地に広がる農地とこれに隣接する住宅地、一部国分川沿いの低地と斜面林、樹林地などで構成された地域を指します。

このゾーンには、昭和初頭に開園された八柱霊園があります。参道のケヤキ並木に石材店が並び、特徴あるまち並みを形成しています。

また、国分川沿いでは畑作が営まれ、自然と農地、それらを背景とした住宅地などが見られます。



2) 景観づくり方針－基本方針との関係

●農地や河川などを通じてうるおいを感じることでできる景観づくり

みどりと農の景観ゾーン	基本方針
農地などの自然環境の保全を図り、大地の恵みが感じられる景観づくりのルールをつくろう。	地域への愛着とおもいやりのある景観づくりのルールをつくろう
市民との協働で農の風景をつくっていこう。	市民一人ひとりが暮らしと営みの中で担い手となり、協働して景観をつくっていこう
国分川の親水性ある景観を活かし、生物の良好な生息環境を次世代に継承しよう。	景観を市民の共有財産として次世代に継承しよう
水辺とみどりが調和した景観を守り、育てよう。	みどり豊かな景観を守り、育てよう
古墳や貝塚などの歴史資源を大切にし、豊かな景観づくりを考えよう。	歴史に培われた文化を大切にし、品格ある景観づくりを考えよう
里の景観資源を活かした創造性ある景観づくりを考えよう。	芸術・創造性の豊かな景観づくりを考えよう

3) 景観ベルト

①斜面林景観ベルト

国分川を中心に谷津、台地から成り立っており、変化に富んだ下総台地の特徴的な地形を有しています。また、八柱霊園付近には河原塚遺跡があり、古くから集落形成が図られていました。

今後も地形を活かしたみどりのうるおいを感じることができる景観づくりを目指します。



国分川沿いの農地と斜面林

②中小河川景観ベルト

国分川は、緩やかに蛇行しながら、畑や斜面林と一体となって豊かな自然景観を形成しています。こうしたみどりと水辺が連続した景観を活かして、水辺の植生や生物の生息環境にも配慮したうるおいのある水辺景観づくりを図ります。



国分川と遊歩道（和名ヶ谷地区）

4) 景観拠点

①商業地景観拠点－東松戸駅周辺（P85 参照）

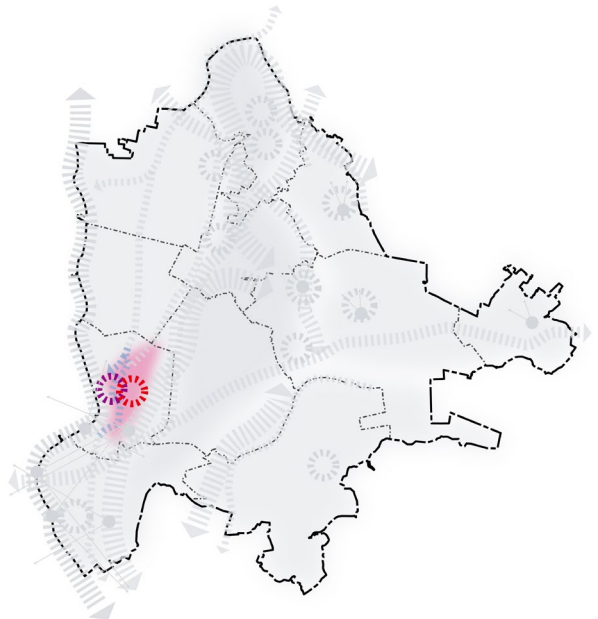
(5) 中心市街地景観ゾーン

1) ゾーンの特徴

「中心市街地景観ゾーン」は、東側の斜面林と江戸川に挟まれた奥行き狭い地域を指します。東側から斜面林―松戸駅を中心とした商業地―坂川―旧水戸街道―江戸川河川敷と順序立てて景観要素を並べることができます。こうして多様な景観要素が箱庭のようにコンパクトにまとまっています。

かつては水戸街道の松戸宿として、江戸川の水運と合わせて交通の要衝として栄えた歴史があり、松戸神社や松龍寺などの由緒ある社寺を見つけることができます。

松戸駅の周辺一帯は中高層の商業・業務施設やマンションを中心に、低層の住宅や商店なども立地するなど、多様な用途の建物で構成されており、密度の高い市街地を形成しています。



松戸駅周辺

2) 景観づくり方針―基本方針との関係

●市街地のにぎわいとみどりや歴史的建造物などがつながる景観づくり

中心市街地景観ゾーン	基本方針
開発に対する調整を図り、秩序ある景観づくりのルールをつくろう。	地域への愛着とおもいやりのある景観づくりのルールをつくろう
商店街などの事業者と協働して、品格とにぎわいのある市街地景観をつくっていこう。	市民一人ひとりが暮らしと営みの中で担い手となり、協働して景観をつくっていこう
自然、歴史・文化、まち並みが調和した景観を次世代に継承しよう。	景観を市民の共有財産として次世代に継承しよう
坂川の水辺のうるおいを守り、育てよう。	みどり豊かな景観を守り、育てよう
旧松戸宿の歴史的遺産を大切にし、趣ある景観づくりを考えよう。	歴史に培われた文化を大切にし、品格ある景観づくりを考えよう
芸術・文化を取り入れ、にぎわいを創造する景観づくりを考えよう。	芸術・創造性の豊かな景観づくりを考えよう

3) 景観ベルト

① 中小河川景観ベルト

松戸駅西口近くを流れる坂川は、「人が集い、歴史を創る坂川の流れ」をテーマにまちづくりと連携した川づくりが行われています。

水際の散策路やさくら並木が整備され、中心市街地でありながら、カワセミが飛び、鮎が泳ぎ、様々な生き物と触れられる貴重な空間となっています。近くには歴史的に貴重な松戸神社などの社寺や小山樋門（通称：レンガ橋）などが見られます。

今後は、まちの歴史と現代のまち並みをつなぎ、調和させる景観要素として、この水辺とみどりが重視されます。



坂川（松戸地域）

4) 景観拠点

- ① 商業地景観拠点－松戸駅周辺 （P56 参照）
- ② 歴史的景観拠点－旧松戸宿周辺 （P57 参照）

3. 地域特性ごとの景観づくり方針

本市全域の視点から、景観ゾーン、景観ベルト、景観拠点、眺望景観ポイントごとに「景観特性ごとの景観づくり方針」を示しました。それに基づき、ここでは、市民により身近な生活環境のまとまりである 11 地域ごとに「景観づくり方針」を定めます。なお、景観拠点においても、先導的に景観形成を図る地区として「景観づくり方針」を定めます。

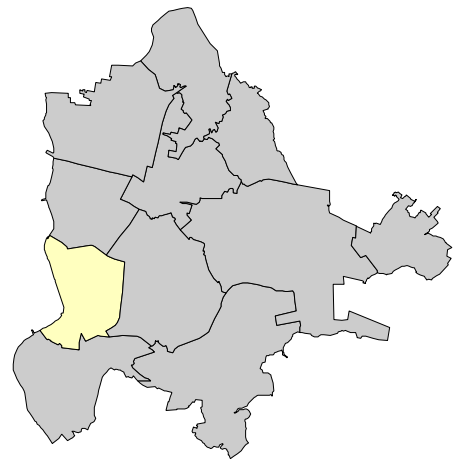
(1) 松戸地域

1) 概況、特性

本地域の地形は、江戸川沿いの低地部と東側の台地部に分かれ、その境には斜面林がまとまっています。松戸駅周辺は本市を象徴する中心的な商業拠点であり、にぎわいを形成しています。江戸時代に水運で発展した松戸宿の歴史的な箇所であり、水戸街道を船でつなぐ渡しは、江戸の出入り口にあたる重関所でした。渡しまでの「渡船場道」は、両側に旅籠屋・船持・船乗・魚類商が軒を連ねてにぎわっていました。現在では、「是より御料松戸宿」の碑が建てられています。

またこの地域は、松戸神社や松龍寺などの由緒ある社寺や、戸定邸、小山樋門（レンガ橋）など歴史的に貴重な建造物を見ることができます。

江戸川では、イベントや、スポーツ、コスモス・ポピーを育て河川敷を花で彩る市民活動などが行われ市民に親しまれています。坂川では、まちづくりと連携した川づくりが行われ、近年では、「松戸宿坂川献灯まつり」など、昔からの伝統行事を引き継ぎながら新しい文化を創る取り組みが進められています。



分類	景観要素
自然（水とみどり）	江戸川、坂川、浅間神社の極相林、戸定が丘歴史公園、相模台・岩瀬などの斜面林、松戸中央公園、千葉大学園芸学部など
歴史・文化	戸定邸、松戸神社、来迎寺、善照寺、西蓮寺、宝光院、松龍寺、納屋河岸、小山樋門（レンガ橋）、旧水戸街道沿いの古い町屋など
まちなか・営み	松戸駅前、プラザ広場、春雨橋親水広場、きてみてまつど通り、ふれあい通り、松戸まつり、松戸宿坂川献灯まつり、江戸川でのイベントやスポーツ、聖徳大学など
まち並み・眺望	松戸駅周辺のまち並み、戸定邸からの眺望、江戸川から望む市街地の眺望など

2) 課題

旧水戸街道沿いに点在する古い町屋などの歴史的な風情は、年々かつての趣を失いつつあります。水辺の近くにある歴史的な景観要素の魅力を再認識できる景観づくりを進め、水辺や並木といった自然要素と歴史要素をつなぐ役割が期待されます。

また、みどり豊かでにぎわいある商店街の演出や、活気ある大学キャンパスの雰囲気まちなかににじみ出すような景観づくりが望まれます。

松戸駅周辺では、過剰で無秩序な屋外広告物の色彩が景観を阻害し、改善しつつあるものの駅前の路上にはみ出した看板や放置自転車が障害者のバリアになるなどの要素も見られます。

引き続き、違法な看板や違法駐輪を是正し、ゴミの集積所を清潔に保つなどの景観阻害要因の改善や、道路のバリアフリー化を進めて安全・快適で回遊性の高い歩行者空間の整備が期待されます。さらに未利用地などを有効に活用し、にぎわいと活力のある、歩いて楽しい回遊性のある洗練された中心市街地の景観づくりを進めていくことが望まれます。

3) 景観づくり方針

考え方	行動方針
● 台地と低地の地形を活かした景観づくりを目指します。	1)-①地形を活かした景観づくりをしよう
● 江戸川などの自然の恵みを活かした景観を目指します。	1)-②みどりのはたらきを活かす景観づくりをしよう
● 旧松戸宿の歴史を大切にしたい景観づくりを目指します。	2)-①歴史的な景観に新たな価値を見出し再生しよう
● 歴史的・文化的建造物等は保全するように努めます。	2)-④歴史的・文化的建造物の保全を図ろう
● 地域の歴史や文化を学び、伝えます。	2)-⑥松戸の歴史や文化に触れられる社会を増やそう
● 公共の案内板・サイン等は見やすく理解しやすいものとなるよう努めます。	3)-④公共の案内板・サイン等は見やすく理解しやすい工夫をしよう
● 戸定邸を広く PR して観光客を増やすとともに、維持管理を充実させます。	4)-③景観的に重視すべき建造物を評価し保全しよう
● ユニバーサルデザインを推進して、安全で快適な空間形成を図ります。	5)-②ユニバーサルデザインを進めよう
● 景観づくりに取り組む市民、大学、事業者の活動を支援します。	5)-③景観づくりに取り組む市民活動を支援しよう

●景観づくりに参加しましょう（下記は一例。進め方は P90～P94 を参照）

〔市民〕

- ・ 玄関前やバルコニーに植栽を施し、街にうるおいを与えます。
- ・ 自転車は決められた場所に駐輪します。
- ・ 地域清掃などのボランティア活動に参加します。
- ・ 祭事などに参加して、地域の歴史や文化を後世に伝えます。

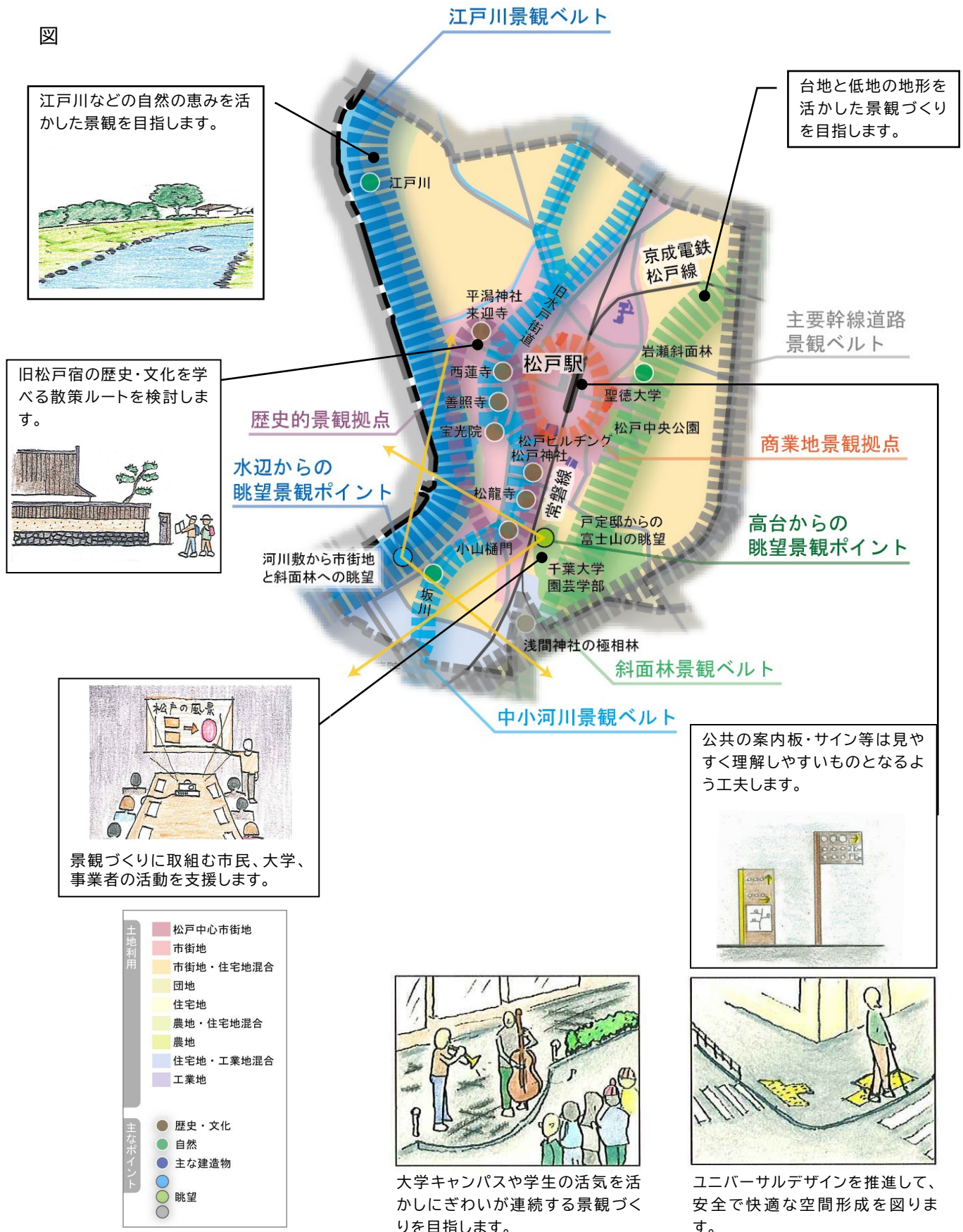
〔事業者〕

- ・ 屋外広告物の掲出ルールを守ります。
- ・ 店先にスペースがある場合は、街に憩いと安らぎを与える植栽やベンチなどを設けます。
- ・ 商品や製品の陳列（ディスプレイ）を工夫し、店先を演出します。

【行政】

- ・ 道路のバリアフリー化を進めて安全快適な歩行者空間を整備します。
- ・ 公共の案内板・サイン等を見やすくします。
- ・ 坂川再生事業を通じて坂川の魅力を伝えます。
- ・ 市民や市民団体、事業者の景観づくりの活動を支援します。

図



■景観拠点〔商業地景観拠点－松戸駅周辺〕

松戸駅周辺は本市を象徴する中心的な商業拠点であり、市外からの訪問者に市を印象づける「まちの顔」の役割を担っています。きてみてまつど通りや市役所通りなどを中心に、電線類の地中化など景観に配慮した道路整備が行われ、にぎわいを形成しています。一方、過剰で無秩序な屋外広告物の色彩が景観を阻害し、改善しつつあるものの、駅前の路上にはみ出した看板や放置自転車が障害者のみならず、通行人のバリアになるなど、好ましくない要素も見られます。



松戸駅西口

また、駅近接の利便性から商業施設などと複合する都市型住宅建設が行われ、中には斜面林の高さを超えて建設される例も見られます。さらに旧水戸街道沿いでは、古い町屋と高層マンションが並ぶ景観が見られます。

今後は、大規模建築物や屋外広告物の掲出、夜間照明のデザイン、未利用地や空地の有効活用などの市街地の景観づくりについて検討するとともに、道路のバリアフリー化を進めて安全・快適で回遊性の高い歩行者空間を整備します。

また、引き続き、違法な看板や違法駐輪を是正し、ゴミの集積所を清潔に保つなどの、事業者や住民が主体的に景観阻害要因の改善に取り組むことも身近な景観づくりを進めていくうえで大切となります。

景観づくり方針

●商業・業務拠点として、にぎわいと品格が調和した思いやりのある景観づくり

考え方	行動方針
● 大学キャンパスや学生の活気を活かしにぎわいが連続する景観づくりを目指します。	3)-①パブリックな空間を活かしにぎわいが連続する景観づくりをしよう
● にぎわいと活力のある回遊性の高い空間づくりを目指します。	3)-②生活感あふれる空間を活かした景観づくりをしよう
● 過剰な屋外広告物や夜間照明を規制するルールを検討します。	3)-③景観を阻害する屋外広告物、工作物等を規制しよう
● 分かりやすい公共サインのあり方を検討します。	3)-④公共の案内板・サイン等は見やすく理解しやすい工夫をしよう
● ゴミの集積所のあり方を工夫します。	3)-⑤ゴミ集積場のあり方を考えよう
● 放置自転車をなくし、無電柱化を推進するなど、安全で快適な景観づくりを目指します。	3)-⑥みんながいつも安心できる景観づくりを進めよう
● 周辺環境に調和する大規模建築物の形態、意匠、色彩等のルールをつくります。	4)-④周辺環境に調和する大規模建築物のルールをつくろう
● 松戸の核となる商業地景観拠点として、景観づくりのルールを検討します。	4)-⑤規制を話し合って景観を保全しよう
● 駅周辺のオープンスペース等の活用により、うるおいとにぎわいを創出します。	5)-①未利用地の活用をすすめよう
● バリアフリーを推進して、安全で快適な歩行者空間の創出を図ります。	5)-②ユニバーサルデザインを進めよう
● 駅前清掃などの市民活動を支援します。	5)-③景観づくりに取り組む市民活動を支援しよう

■景観拠点[歴史的景観拠点－旧松戸宿周辺]

旧水戸街道沿いには、現在でも古い町屋などが点在し、昔の営みや暮らしを今に伝えていきます。また、坂川には小山樋門（レンガ橋）といった建造物もあります。しかし、このような歴史的な風情は年々かつての趣を失いつつあります。

しかしながら、松戸神社周辺の旧市街地では、松戸神社の祭礼とともに、近年では、松戸宿坂川献灯まつりなど坂川の魅力を活かし、昔からの伝統行事を引き継ぎながら新しい文化を創る取組みが進められています。これらの行事は、人によるこびや安らぎを与え、本市の景観づくりの重要な要素となっています。このような行事などソフト面から、松戸の歴史を再考するきっかけをつくることも景観づくりの一環です。



松戸神社



小山樋門（レンガ橋）

景観づくり方針

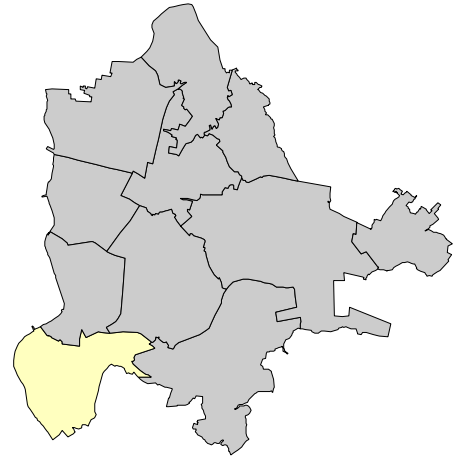
●商業・業務拠点にある歴史的景観の再評価

考え方	行動方針
● 伝統行事や年中行事などを活用して景観づくりの普及啓発を進めます。	2)-③人によるこびや安らぎを与える伝統行事を継承しよう
● 旧松戸宿の歴史・文化を学べる散策ルートを検討します。	2)-⑥松戸の歴史や文化に触れられる社会を増やそう
● 旧松戸宿の歴史・文化を学び、松戸の市街地の変遷を伝えます。	3)-⑦伝統や文化から人の営みを学び景観づくりのあり方を考えよう

(2) 矢切地域

1) 概況、特性

本地域の地形は、江戸川沿いの低地部にまとまった農地を見ることができ、東側の台地部には整然とした住宅地が広がっています。矢切地区は、歴史的な矢切の渡しを始め、小高い丘の上には、小説「野菊の墓」の文学碑がある西蓮寺と眺望のよい野菊苑、矢切神社など、歴史・文化資源が多く見られます。さらに、江戸川沿いの低地部には、矢切ねぎを特産とする優良な農地が広がり、台地部の境に長く連なる斜面林と共に一体的なみどりの景観として自然に恵まれた地域です。



分類	景観要素
自然（水とみどり）	江戸川、矢切・栗山の斜面林、矢切の農地、坂川沿いの水辺など
歴史・文化	栗山古墳、矢切神社、西蓮寺・野菊の墓文学碑、宝蔵院、矢切庚申塚、浅間神社の極相林、二十世紀梨誕生の地記念碑など
まちなか・営み	矢切の渡し、柳原水閘、栗山浄水場の配水塔など
まち並み・眺望	野菊苑から見る農地、江戸川、富士山の眺望、江戸川からの眺望など

2) 課題

矢切・栗山地区の斜面林は本市の代表的な緑地であり、恒久的な斜面林の保全や、崖線の上からの良好な眺望景観が楽しめるように、緑地と農地の保全が望まれます。

そして、歴史やまち並み、眺望を活かした観光ルートの作成や、農地や菜園を活かして松戸の食を体験できる場を設けるなどの多面的な交流機能の充実が望まれます。

また、本地域では、みどりの創出と復元に配慮した東京外かく環状道路が建設されました。今後も、土地利用の転換がされる場合は、周辺環境との調和に配慮することが求められます。

3) 景観づくり方針

考え方	行動方針
● 斜面林、農地、河川がつくる広大な景観を保存します。	1)-①地形を活かした景観づくりをしよう
● 自然や歴史、眺望などを活かし、観光も取り入れた多面的な交流拠点を目指します。	1)-②みどりのはたらきを活かす景観づくりをしよう
● 土地利用の転換がされる場合は、周辺環境との調和に配慮します。	1)-⑧みどりの多いまち並みにしよう
● 遺跡や古墳などを周辺の景観づくりに活かします。	2)-⑤歴史的・文化的景観の復元を考えよう
● 地域の歴史や文化を学び伝えます。	2)-⑥松戸の歴史や文化に触れられる社会を増やそう
● 斜面林の景観および台地からの優れた眺望景観を大切にします。	4)-②優れた眺望景観を確保しよう

●景観づくりに参加しましょう（下記は一例。進め方は P90～P94 を参照）

〔市民〕

- ・ 玄関前やバルコニーに植栽を施し、街にうるおいを与えます。
- ・ 地域で行われているボランティア活動に参加します。
- ・ 観光客に松戸の歴史や文化、良いところを伝えます。

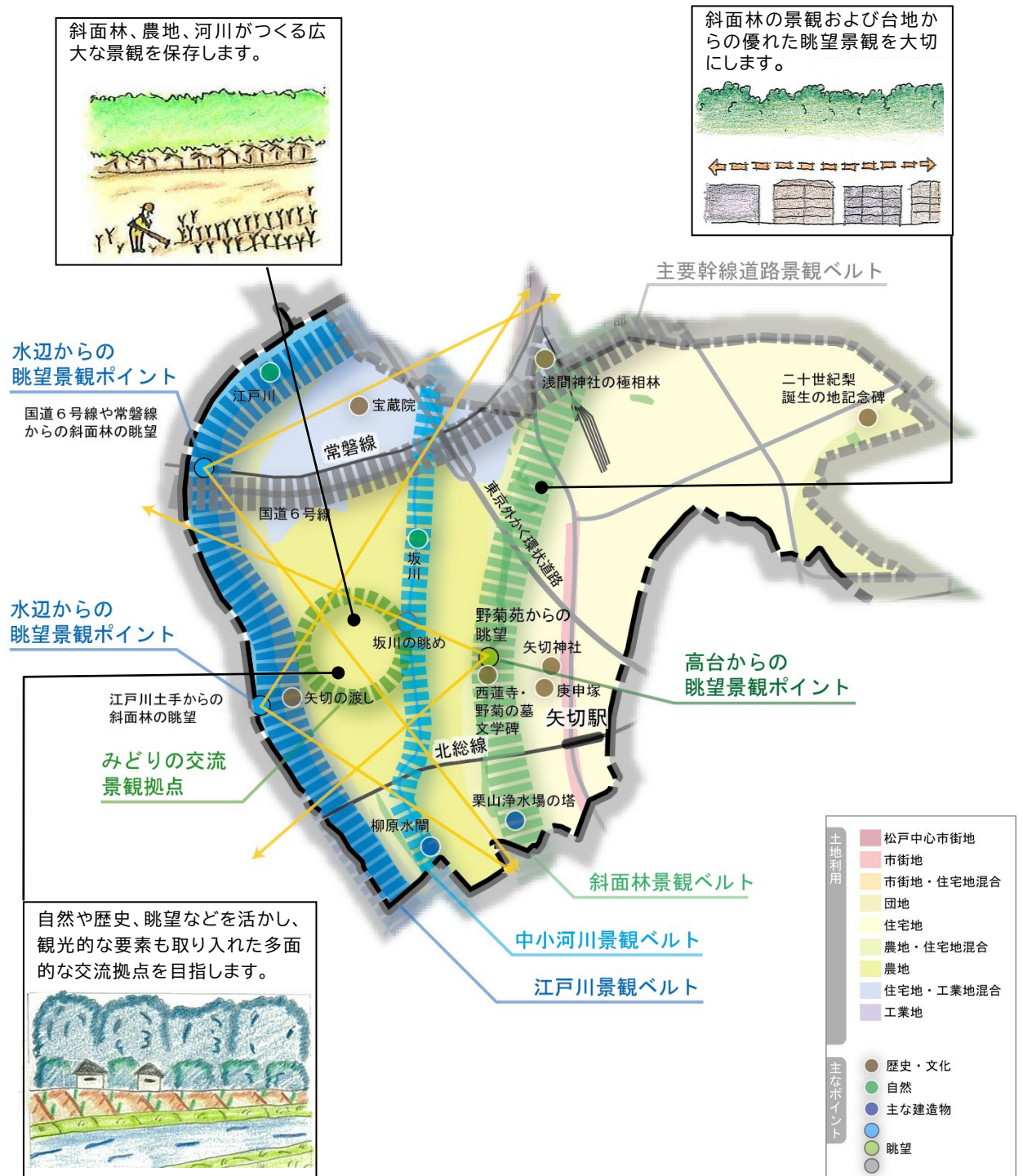
〔事業者〕

- ・ 事業内容が斜面林に与える影響を考えます。
- ・ 屋外広告物の掲出ルールを守ります。
- ・ 資材置き場等は周囲の景観に配慮します。

〔行政〕

- ・ 矢切栗山地区の斜面林を特別緑地保全地区に指定し守ります。
- ・ 川のレクリエーション交流拠点づくりを育成し農地の保全を図ります。
- ・ 景観づくりのルールを検討します。

図



■景観拠点「みどりの交流景観拠点－矢切農地一帯」

矢切地区と江戸川対岸の柴又を結ぶ矢切の渡しは、手漕ぎの和船が珍しく東京近郊に残る唯一の渡し船となっていました。当時の艀を漕ぐ音は、「日本の音風景百選」にも選ばれ、心に残る景観の一つになっていました。また、下矢切の船着場の東に広がる矢切ねぎで有名な矢切地区の農地は、背後の斜面林と一体的なみどりの景観として広く市民に親しまれています。



野菊苑からの眺望

広大な農地の中にある散策路を、1.5km程進んだ斜面林に覆われた小高い丘の上には、小説「野菊の墓」の文学碑がある西蓮寺と眺望のよい野菊苑があります。

今後も、歴史的な交通機関である渡し舟を保全しつつ、船上から穏やかな時の流れを感じられる豊かな景観の形成を図るとともに、崖線の上からは、良好な眺望景観が楽しめるように、緑地と農地の保全を図っていきます。



野菊の墓文学碑

また、歴史やまち並み、眺望を活かした観光ルートを新たに作成し、農地や菜園を活かした松戸の食を体験できる場を設けるなど、多面的な交流機能の充実を図ります。

景観づくり方針

●みどりの保全活用と河川敷の眺望を活かした開放感のある景観づくり

考え方	行動方針
● 斜面林、農地、河川がつくる広大な景観を守り育てます。	1)-③骨格となるみどりの景観を守ろう
● 河川敷から斜面林までの空間の一体感を創出します。	1)-⑦みどりと水のつながりを創っていこう
● 斜面林の景観を阻害しないようなルールを検討します。	4)-⑨周辺のまち並みと斜面林、河川に考慮した外観の建物をつくろう

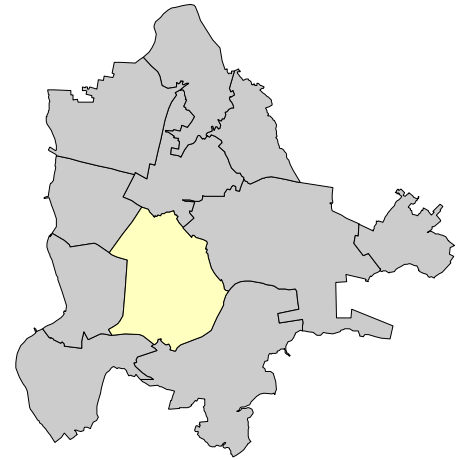
(3) 明地域

1) 概況、特性

本地域は、低地に国分川、台地部には谷津が入り込み、比較的起伏に富む地形となっています。地域の大半は住宅を主体とする市街地ですが、台地と低地の境には斜面林が残り、国分川沿いに水田と集落地が見られます。上本郷地区においては、本福寺、カンスケ井戸、風早神社など、豊富な歴史・自然特性が見られます。

斜面林が身近に存在していることに加え、開発から数十年経た住宅地などでは、植栽したみどりが大きく成長している地域も見られます。また、古くからの地主や農業を営んでいる家々では屋敷林が残るなど、ゾーン全体としてみどりに恵まれた住環境です。

また、中央部には稔台工業団地があり、本市の生産拠点となっています。



分類	景観要素
自然（水とみどり）	カンスケ井戸、宮の下湧水、上本郷の斜面林など
歴史・文化	上本郷遺跡、風早神社、明治神社、本福寺、本覚寺など
まちなか・営み	上本郷の三匹獅子舞など
まち並み・眺望	稔台工業団地、松戸運動公園（サクラなどのみどり）、和名ヶ谷クリーンセンターの煙突など

2) 課題

地域の大半を占める住宅地では、沿道部分の緑化や壁面の工夫によるみどり豊かで統一感ある景観づくりが望まれます。今後も、成長したみどりの保全を念頭に住宅地として成熟した景観を育成していくことが大切です。

また、稔台工業団地の東側では住宅と工場の混在する地区もあり、工業団地及びその周辺においても、良好な景観を形成するための緑化事業や建築物などの景観に対する配慮などが望まれます。

3) 景観づくり方針

考え方	行動方針
● 斜面林や台地からの湧水などの自然特性を活かした景観づくりを目指します。	1)-①地形を活かした景観づくりをしよう
● 稔台工業団地は、敷地にみどりを増やしたり、看板等の工夫など、事業者と協働により工業地景観の向上を図ります。	1)-⑧みどりの多いまち並みにしよう
● 歴史的な景観や営みを活かした景観づくりを目指します。	2)-①歴史的な景観に新たな価値を見出し再生しよう
● 松戸らしさを伝える伝統行事を継承します。	2)-③人によるこびや安らぎを与える伝統行事を継承しよう
● 地域の歴史や文化を学び、伝えます。	2)-⑥松戸の歴史や文化に触れられる社会を増やそう
● 駅前にはにぎわいが創出できるよう景観づくりに努めます。	3)-①パブリックな空間を活かしたにぎわいが連続する景観づくりをしよう

●景観づくりに参加しましょう（下記は一例。進め方は P90～P94 を参照）

〔市民〕

- ・ 敷地境界には生垣を配植するなど、街にうるおいを与えます。
- ・ 祭事などに参加して、地域の歴史や文化を後世に伝えます。

〔事業者〕

- ・ 敷地境界を緑化するなど、まち並みの構成に配慮します。

〔行政〕

- ・ 市民の景観づくりに関する活動を支援します。
- ・ 景観づくりのルールを検討します。

図



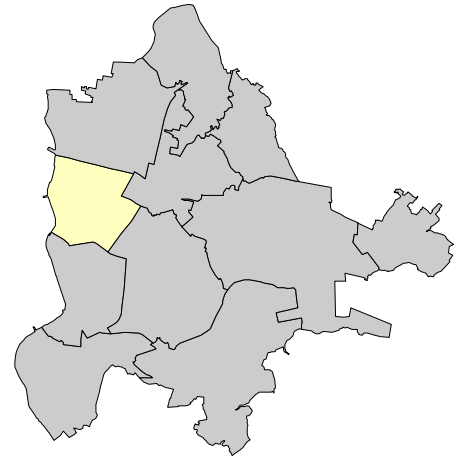
(4) 古ヶ崎地域

1) 概況、特性

本地域は、北松戸駅西側のかつての水田地帯を個別開発により住宅が建設され、生産緑地地区のみどりと混在しながらも、立体的に目にするみどりが少なく密集した住宅地となっています。

西端には江戸川、平坦な地形の中に坂川、新坂川、六間川などの多くの河川が流れています。

また、北松戸工業団地は、県内でも有数の内陸工業団地で、隣接して競輪場があり、特徴ある生産拠点となっています。



分類	景観要素
自然（水とみどり）	江戸川、坂川、新坂川・親水護岸、六間川、横六間川など
歴史・文化	正真寺、香取稻荷神社など
まちなか・営み	日本大学松戸歯学部、松戸競輪場など
まち並み・眺望	北松戸工業団地、生産緑地のある低層住宅地など

2) 課題

生産緑地地区のみどりが多少混在している古ヶ崎地区や、かつての水田地帯に広がっていった栄町地区の住宅地では、全体的にみどりが少なく密集した住宅地が形成されています。公園やオープンスペースの適切な配置などにより、防災面と景観面に配慮した緑化推進による良好な住宅環境形成を誘導することが望めます。

北松戸工業団地は、運輸業・流通業への業種転換が見られます。工業団地においても、景観に与える影響の大きい企業の協力をいただき、良好な景観を形成するための緑化事業や建築物などの景観に対する配慮などが望めます。

3) 景観づくり方針

考え方	行動方針
● 坂川などの水辺空間を活かしたうるおいのある景観づくりを目指します。	1)-②みどりのはたらきを活かす景観づくりをしよう
● うるおいある生活環境を実現するため、市民・事業者・行政が協働して緑化に努めます。	1)-⑥地域のみどりを適切に手入れしよう
● 北松戸工業団地は、敷地にみどりを増やしたり、看板等の工夫など、事業者と協働により工業地景観の向上を図ります。	1)-⑧みどりの多いまち並みにしよう
● 地域の歴史や文化を学び、伝えます。	2)-⑥松戸の歴史や文化に触れられる社会を増やそう
● 北松戸の競輪場周辺はにぎわいある空間の創造と景観の向上に努めます。	3)-①パブリックな空間を活かしてにぎわいが連続する景観づくりをしよう
● 小公園、ポケットパークなどの身近なみどりの空間づくりに努めます。	5)-①未利用地の活用をすすめよう

景観づくりに参加しましょう（下記は一例。進め方は P90～P94 を参照）

[市民]

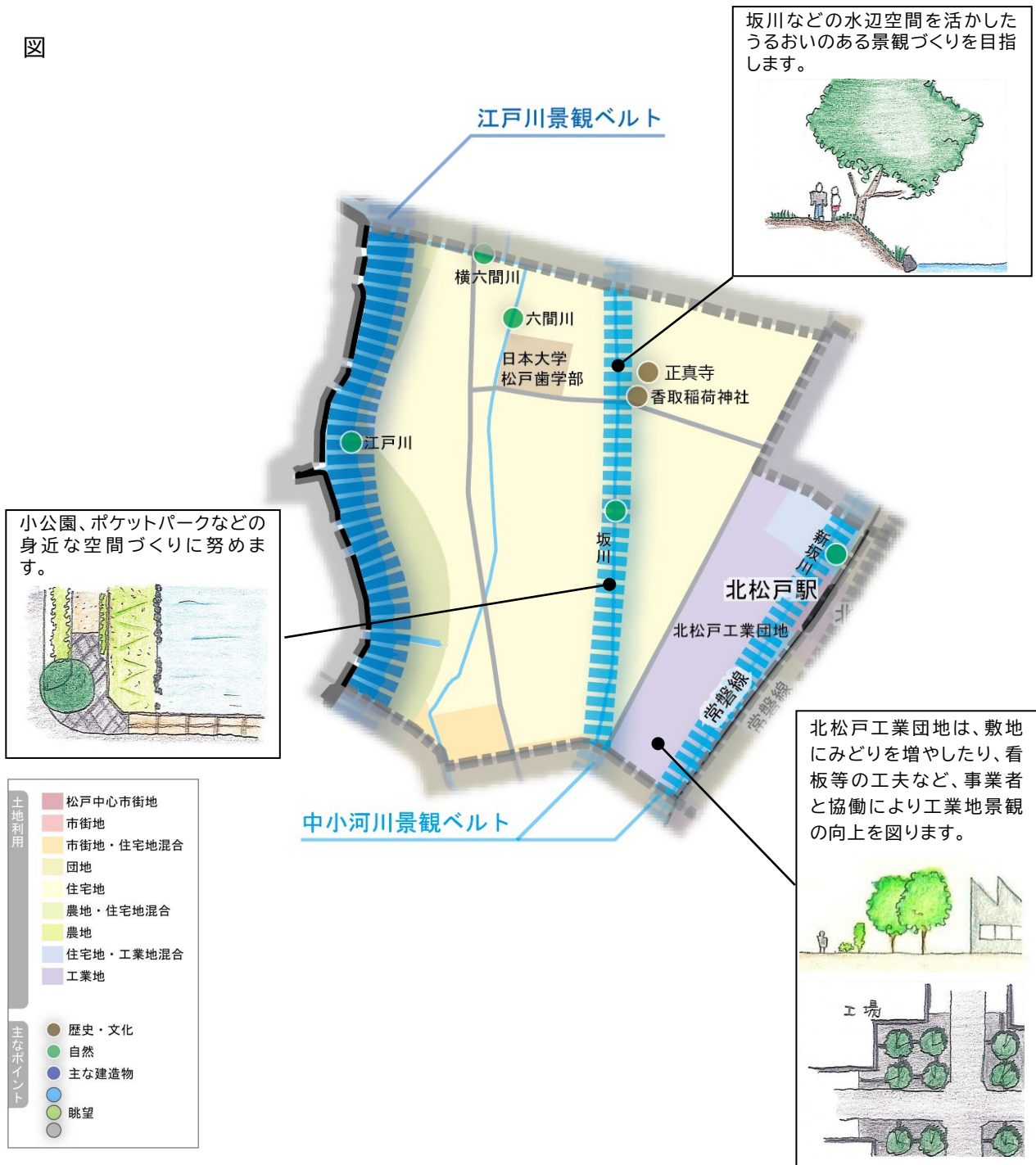
- ・ 玄関前やバルコニーに植栽を施し、街にうるおいを与えます。
- ・ 市民参加で行われている河川の清掃活動に参加します。

[事業者]

- ・ 敷地境界を緑化するなど、まち並みの構成に配慮します。

[行政]

- ・ 親水に配慮した河川整備に努めます。
- ・ 市民の景観づくりに関する活動を支援します。
- ・ 景観づくりのルールを検討します。



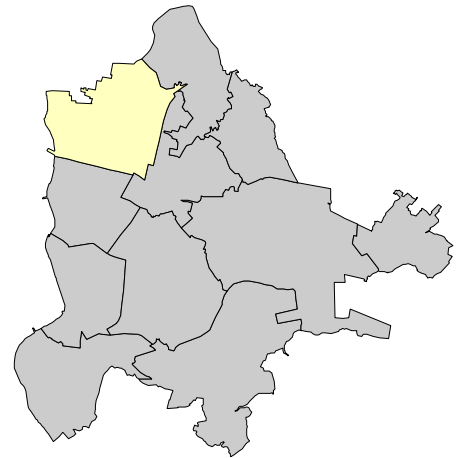
(5) 新松戸地域

1) 概況、特性

本地域は、ほぼ全域が江戸川沿いの低地部に属し、東側の市街地と西側の農地に大きく二分されます。西端には、江戸川が流れ、坂川、新坂川、神明堀などの河川やまこも池などの水資源にも恵まれています。

坂川放水路周辺の主水新田などは水田が広がります。

新松戸駅周辺は様々な商業施設や大学が立地し、にぎわいと活気ある様子を見ることができます。新松戸から江戸川の間の一帯は、土地区画整理事業により計画的な整備が行われ、街路樹が多く、中高層住宅地と低層の戸建住宅地が広がっています。



分類	景観要素
自然（水とみどり）	新松戸中央公園、坂川放水路、まこも池、六間川、坂川親水プロムナード、新坂川・桜並木、横六間川、神明堀、水田地帯、江戸川など
歴史・文化	稲荷神社、金蔵院など
まちなか・営み	流通経済大学、流鉄流山線、新松戸駅前など
まち並み・眺望	けやき通り、きょうちくとう通り、いちよう通り（馬橋駅西口）イルミネーションなど

2) 課題

新松戸駅周辺は、過剰で無秩序な屋外広告物などの景観を阻害する要因もあり、必ずしも良好な景観とはいえません。こうした景観阻害要因の改善を図ることにより、安全で快適な商業地の景観づくりが望まれます。

住宅地周辺は、街路樹や住宅の緑化、新松戸中央公園のみどりの働きを活かしたみどり豊かな景観づくりが望まれます。また、西端のまこも池周辺の水田地帯は、実りの充実を通じて、うるおいと安らぎが感じられる自然景観を活かした景観づくりが望まれます。



新松戸のけやき通り

3) 景観づくり方針

考え方	行動方針
● けやき通りやきょうちくとう通りなど、良好な沿道景観を大切にします。 ● 豊かな水田風景の保全に努めます。	1)-③骨格となるみどりの景観を守ろう
● 流鉄流山線の列車と新坂川沿いの桜などが調和した風景を大切にします。	1)-④心のよりどころとなるみどりを継承しよう
● 水田地帯は、実りの充実を通じて、うるおいと安らぎを感じる景観づくりを目指します。	1)-⑦みどりと水のつながりを創っていこう
● 地域の歴史や文化を学び、伝えます。	2)-⑥松戸の歴史や文化に触れられる社会を増やそう
● 新松戸駅周辺の土地区画整理された地域では、整備された都市機能と開放的な生活空間を活かした景観づくりを目指します。	3)-⑧身近な生活環境から、景観資源を見いだそう
● バリアフリーを推進して、安全で快適な歩行者空間の創出を図ります。	5)-②ユニバーサルデザインを進めよう

●景観づくりに参加しましょう（下記は一例。進め方はP90～P94を参照）

【市民】

- ・ 玄関前やバルコニーに植栽を施し、街にうるおいを与えます。
- ・ 自転車は決められた場所に駐輪します。

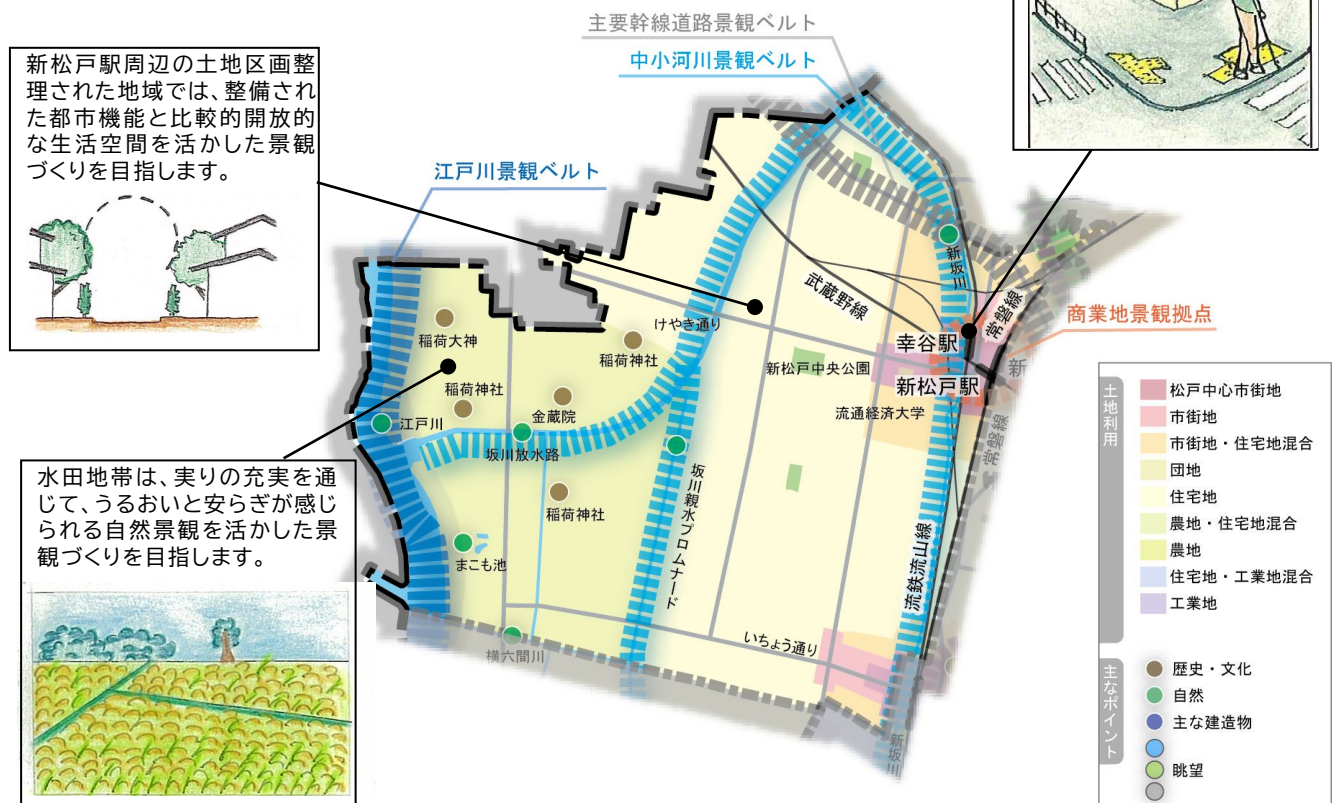
【事業者】

- ・ 屋外広告物の掲出ルールを守ります。
- ・ 商品や製品の陳列（ディスプレイ）を工夫し、にぎわいを創出します。

【行政】

- ・ 市民の景観づくりに関する活動を支援します。
- ・ 景観づくりのルールを検討します。
- ・ 成熟した街路樹を大切にします。

図



■景観拠点〔商業地景観拠点－新松戸駅周辺〕

新松戸駅周辺は、様々な商業施設が立地し、通勤・通学のための鉄道利用者や、買い物や仕事などで訪れる人々、駅周辺に暮らす人々などの生活活動が重なり、にぎわいと活気ある様子をみることができます。

その反面、過剰で無秩序な屋外広告物などで景観を阻害する要因もあり、必ずしも良好な景観とはいえません。こうした景観阻害要因の改善を図ることにより、安全で快適な商業地の景観の形成を目指します。

また、流通経済大学キャンパスを活かした若者でにぎわうまちなかの景観の形成を図ります。



新松戸駅前

景観づくり方針

●景観阻害要因の改善による、安全で安心して過ごせる秩序あるまちなかの景観づくり

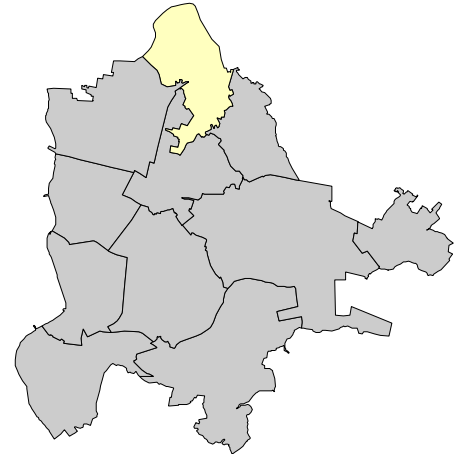
考え方	行動方針
● 大学キャンパスや学生の活気を活かしにぎわいが連続する景観づくりを目指します。	3)-①パブリックな空間を活かしにぎわいが連続する景観づくりをしよう
● 過剰な屋外広告物や夜間照明を規制するルールを検討します。	3)-③景観を阻害する屋外広告物、工作物等を規制しよう
● 分かりやすい公共サインのあり方を検討します。	3)-④公共の案内板・サイン等は見やすく理解しやすい工夫をしよう
● ゴミの集積所のあり方を工夫します。	3)-⑤ゴミ集積場のあり方を考えよう
● 周辺環境に調和する大規模建築物の形態、意匠、色彩等のルールを検討します。	4)-④周辺環境に調和する大規模建築物のルールをつくろう
● 市の中心的な商業系の景観拠点として、景観づくりのルールが必要です。	4)-⑤規制を話し合っ景観を保全しよう
● 駅周辺のオープンスペース等の活用により、うるおいとにぎわいの創出に努めます。	5)-①未利用地の活用をすすめよう

(6) 小金地域

1) 概況、特性

本地域は、比較的起伏に富んだ台地部と、地域の東西の端を流れる坂川、富士川周辺の低地部で構成されます。坂川や富士川沿いの市街化調整区域には農地が広がっています。

また、戦国時代の豪族高城氏の居城跡である小金城址や、領主高城氏の保護を受けて栄えた本土寺・東漸寺、高城氏代々の墓のある廣徳寺などの多くの歴史遺産を有する地域です。



分類	景観要素
自然（水とみどり）	幸田湧水、坂川、富士川、水田地帯など
歴史・文化	幸田貝塚、殿平賀遺跡、東平賀遺跡、大谷口歴史公園（小金城址）、廣徳寺、東漸寺、本土寺、一月寺、大勝院、慶林寺、旅籠：玉屋・小金宿本陣跡、本土寺参道、蘇羽鷹神社など
まちなか・営み	北小金駅前など
まち並み・眺望	旧小金宿のまち並みなど

2) 課題

地域北部の坂川・富士川・上富士川周辺では、水田を主体とする水辺空間を活かしまた、地域南部の市街地は、歴史遺産を大切に、小金城址、本土寺、東漸寺などの建造物とみどり、静けさとにぎわいが調和した景観づくりが望まれます。

3) 景観づくり方針

考え方	行動方針
● 屋敷林や庭木などの道路から見えるみどりを景観づくりに活かします。	1)-②みどりのはたらきを活かす景観づくりをしよう
● 斜面林や社寺のみどりを大切にします。	1)-④心のよりどころとなるみどりを継承しよう
● 地域北部の坂川、富士川、上富士川周辺は、水辺空間を活かした景観づくりを目指します。	1)-⑦みどりと水のつながりを創っていこう
● 本土寺や東漸寺など歴史的建造物の界隈は雰囲気を活かした景観づくりを目指します。	2)-①歴史的な景観に新たな価値を見出し再生しよう
● 地域の歴史や文化を学び、伝えます。	2)-⑥松戸の歴史や文化に触れられる社会を増やそう
● 落ち着いた佇まいとみどりを大切にします。	4)-⑤規制を話し合っ景観を保全しよう
● もてなしの心と癒しの空間のある景観づくりを目指します。	5)-①未利用地の活用をすすめよう

●景観づくりに参加しましょう（下記は一例。進め方は P90～P94 を参照）

【市民】

- ・ 敷地境界には生垣を配植するなど、街にうるおいを与えます。
- ・ 祭事などに参加して、地域の歴史や文化を後世に伝えます。
- ・ 観光客に小金の歴史や文化、良いところを伝えます。

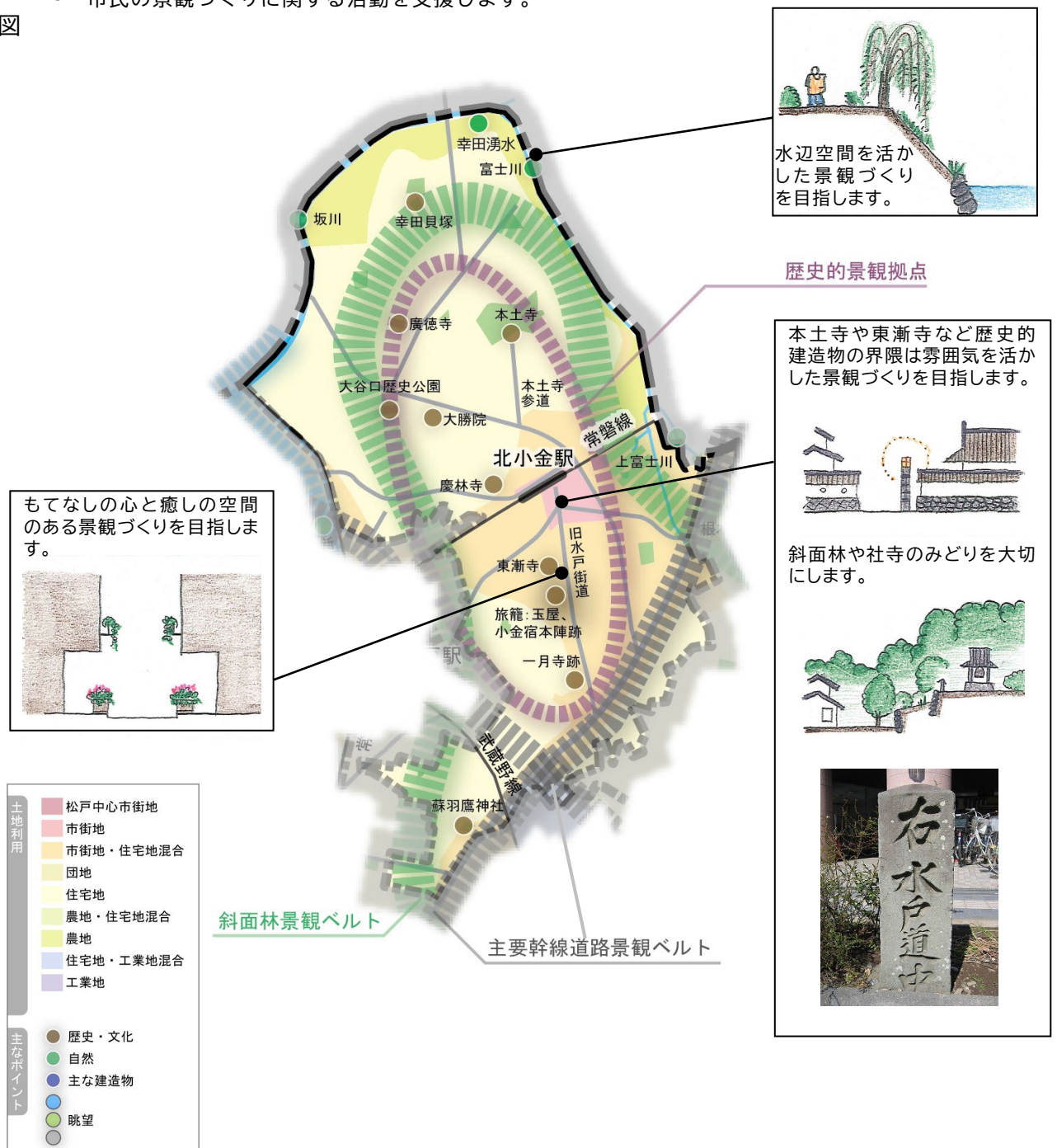
【事業者】

- ・ 事業内容が斜面林に与える影響を考えます。
- ・ 事業内容が歴史的な景観に与える影響を考えます。
- ・ 屋外広告物の掲出ルールを守ります。

【行政】

- ・ 歴史的建造物を大切にします。
- ・ 本土寺・東漸寺などの社寺林を保全します。
- ・ 景観づくりのルールを検討します。
- ・ 市民の景観づくりに関する活動を支援します。

図



■景観拠点〔歴史的景観拠点－旧小金宿周辺〕

小金地域には、江戸初期に関東十八檀林の1つとされた名刹「東漸寺」や、あじさい寺として市民に親しまれている「本土寺」などがあります。これら寺の巨木・古木、四季折々の花木や周辺の斜面林は、心のよりどころとなる貴重なみどりであり、その界隈は、独特な風情を醸し出していることから、「社寺」の風情は重要な景観要素の一つになっています。

特に、小金の旧水戸街道沿いは、旅籠「玉屋」や、間口が狭くて奥行きのある町屋、昔のままの地割もかつての面影をわずかに留めています。そして、仕立てられた松や檜、生垣などの昔ながらのまち並みをみることができ、当時の様子を忍ばせてくれます。

今後、歴史的建築物界隈のまち並みを継承していくためには、日々のメンテナンスに配慮し、まち並みを伝えていくことが大切です。加えて、これらの景観要素のPRを進め、歴史と文化の薫る豊かな景観の形成を図ります。



本土寺の菖蒲



旧水戸街道の旅籠「玉屋」

景観づくり方針

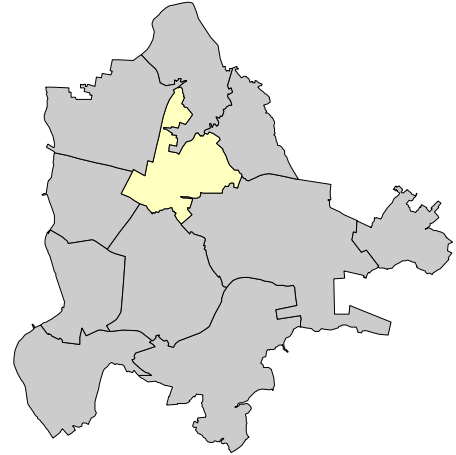
●歴史や文化の蓄積が醸すまち並み・界隈を活かした景観づくり

考え方	行動方針
● 旧水戸街道沿いの軒先・店先は、みどりや花を配置するなど、街のうるおいの創出に努めます。	1)-⑧みどりの多いまち並みにしよう
● 旧小金宿の歴史的まち並みを活かした景観づくりを目指します。	2)-①歴史的な景観に新たな価値を見出し再生しよう
● 祭事やイベントを通して人と人の結びつきを大切に、新たな街の文化を創造します。	2)-⑥松戸の歴史や文化に触れられる社会を増やそう
● 過剰な屋外広告物や夜間照明を規制するルールを検討します。	3)-③景観を阻害する屋外広告物、工作物等を規制しよう
● 通りの清掃や植栽管理、建物の修繕などに配慮し、まち並みを大切に作る気持ちを育みます。	4)-⑥日々のメンテナンスを大切に、良好な景観の維持に努めよう
● 旧小金宿の歴史的な建物意匠を大切に、周囲と調和のとれた建築物のルールを検討します。	4)-⑩色彩や素材に配慮した建物をつくろう
● 街を歩く人が憩えるポケットパークのなどの設置に努めます。	5)-①未利用地の活用をすすめよう
● バリアフリーを推進して、安全で快適な歩行者空間の創出を図ります。	5)-②ユニバーサルデザインを進めよう

(7) 馬橋地域

1) 概況、特性

本地域の地形は、西側の低地部と東側の台地部に大きく分かれ、比較的起伏に富んだ地形となっています。低地と台地の境には斜面林や湧水池が残り、一部のみどりは保全樹林地区に指定されています。旧水戸街道沿いには「萬満寺」があり、重要な景観要素の一つになっています。



分類	景観要素
自然（水とみどり）	斜面林など
歴史・文化	萬満寺、王子神社、妙見神社、熊野神社、安房須神社など
まちなか・営み	旧水戸街道など
まち並み・眺望	さくら通り（八ヶ崎）など

2) 課題

本地域は斜面林、湧水池などの自然資源や、萬満寺をはじめとする旧水戸街道沿いの歴史遺産の活用を基本とし、民有地内の緑化と共にみどり豊かな住宅地景観を形成することが望まれます。

3) 景観づくり方針

考え方	行動方針
● 湧水や斜面林などの自然資源や地形を活かした景観づくりを目指します。	1)-①地形を活かした景観づくりをしよう
● 歴史的建築物の風情を活かした景観づくりを目指します。	2)-①歴史的な景観に新たな価値を見出し再生しよう
● 地域の歴史や文化を学び、伝えます。	2)-⑥松戸の歴史や文化に触れられる社会を増やそう
● 過剰な屋外広告物や夜間照明を規制するルールを検討します。	3)-③景観を阻害する屋外広告物、工作物等を規制しよう
● 新松戸駅東側の土地区画整理事業が進められている地区では、都市機能と開放的な生活空間を活かした景観づくりを目指します。	3)-⑥みんながいつも安心できる景観づくりを進めよう 4)-⑨周辺のまち並みと斜面林、河川に考慮した外観の建物をつくろう

●景観づくりに参加しましょう（下記は一例。進め方は P90～P94 を参照）

〔市民〕

- ・ 敷地境界には生垣を配植するなど、街にうるおいを与えます。
- ・ 祭事などに参加して、地域の歴史や文化を後世に伝えます。
- ・ 観光客に松戸の歴史や文化、良いところを伝えます。

〔事業者〕

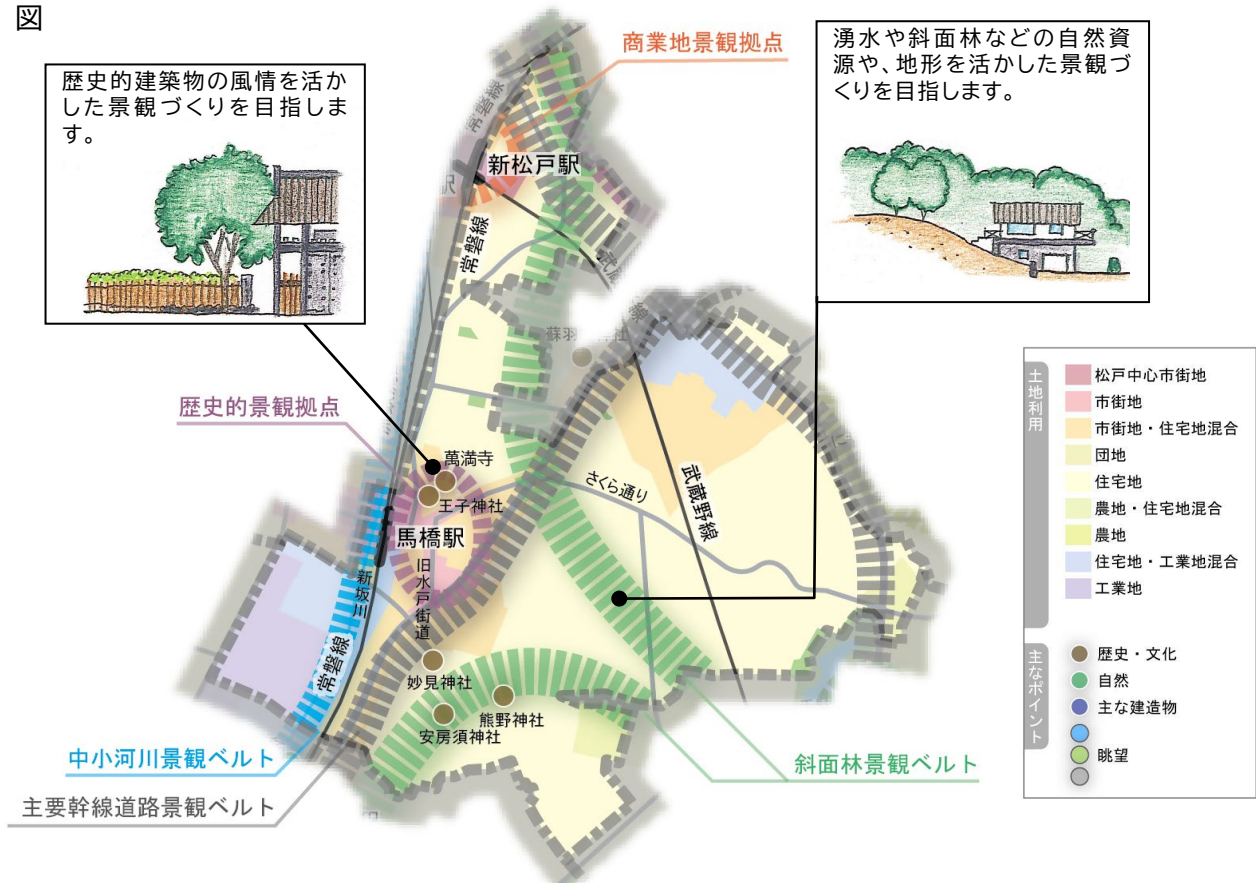
- ・ 事業内容が斜面林に与える影響を考えます。
- ・ 屋外広告物の掲出ルールを守ります。

- ・ 事業内容が歴史的な景観に与える影響を考えます。

【行政】

- ・ 歴史的建造物を大切にします。
- ・ 景観づくりのルールを検討します。
- ・ 市民の景観づくりに関する活動を支援します。

図



■景観拠点【歴史的景観拠点－馬橋駅周辺】

馬橋地域には「萬満寺」があり、伝承によれば鎌倉時代仏師運慶の作といわれる「金剛力士像」は、国の重要文化財に指定されています。

斜面林や、社寺の巨木・古木は、心のよりどころとなる貴重なみどりであり、その界隈は、独特な風情を醸し出していることから、重要な景観要素の一つになっています。

今後も、歴史的建築物界隈のまち並みを継承していくために、こうした景観要素のPRを進め、歴史と文化の薫る豊かな景観の形成を図ります。

景観づくり方針

- 歴史や文化の蓄積が醸すまち並み・界隈を活かした景観づくり

考え方	行動方針
● 旧水戸街道沿いの歴史的な景観要素を活かしたまち並みを目指します。	2)-①歴史的な景観に新たな価値を見出し再生しよう
● 過剰な屋外広告物や夜間照明を規制するルールづくりが必要です。	3)-③景観を阻害する屋外広告物、工作物等を規制しよう



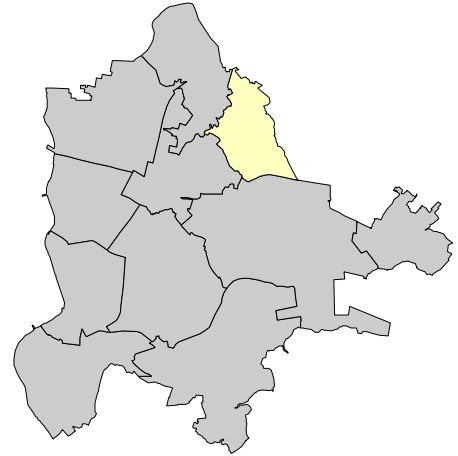
萬満寺

(8) 小金原地域

1) 概況、特性

本地域の北部の市街化調整区域には上富士川や、農地が広がっています。また、貝の花などの遺跡や、縄文時代後期の貝塚が発見されており、そのほか根木内城址などの歴史遺産が残され「根木内歴史公園」として整備されています。

昭和 40 年代以降土地区画整理事業により大規模な造成が行われた小金原団地は、アメリカフウ・ニセアカシア・ソメイヨシノ・イチョウなどの多種の街路樹や、小金原公園などの豊富なみどりが全体として落ち着いた住宅地景観を形成しています。



分類	景観要素
自然（水とみどり）	上富士川、根木内歴史公園、小金原公園、大清水湧水など
歴史・文化	貝の花貝塚、茂侶神社など
まちなか・営み	夏祭りなど
まち並み・眺望	小金原団地、いちょう通り、さくら通り、あめりかふう通りなど

2) 課題

北東部では、根木内歴史公園周辺の樹林や湿地などを保全するとともに積極的に活かした景観づくりが望まれます。

また、団地内の植栽や街路樹、小金原公園などのみどり、貝塚などの自然資源を活かした景観づくりが望まれます。

3) 景観づくり方針

考え方	行動方針
● 地形の起伏を活かした景観づくりを目指します。	1)-①地形を活かした景観づくりをしよう
● 成熟した美しい街路樹を活かした景観づくりを目指します。	2)-②みどりははたらきを活かす景観づくりをしよう
● 地域の歴史や文化を学び、伝えます。	2)-⑥松戸の歴史や文化に触れられる社会を増やそう

●景観づくりに参加しましょう（下記は一例。進め方は P90～P94 を参照）

【市民】

- ・ 敷地境界には生垣を配植するなど、街にうるおいを与えます。
- ・ 玄関前やバルコニーに植栽を施し、街にうるおいを与えます。

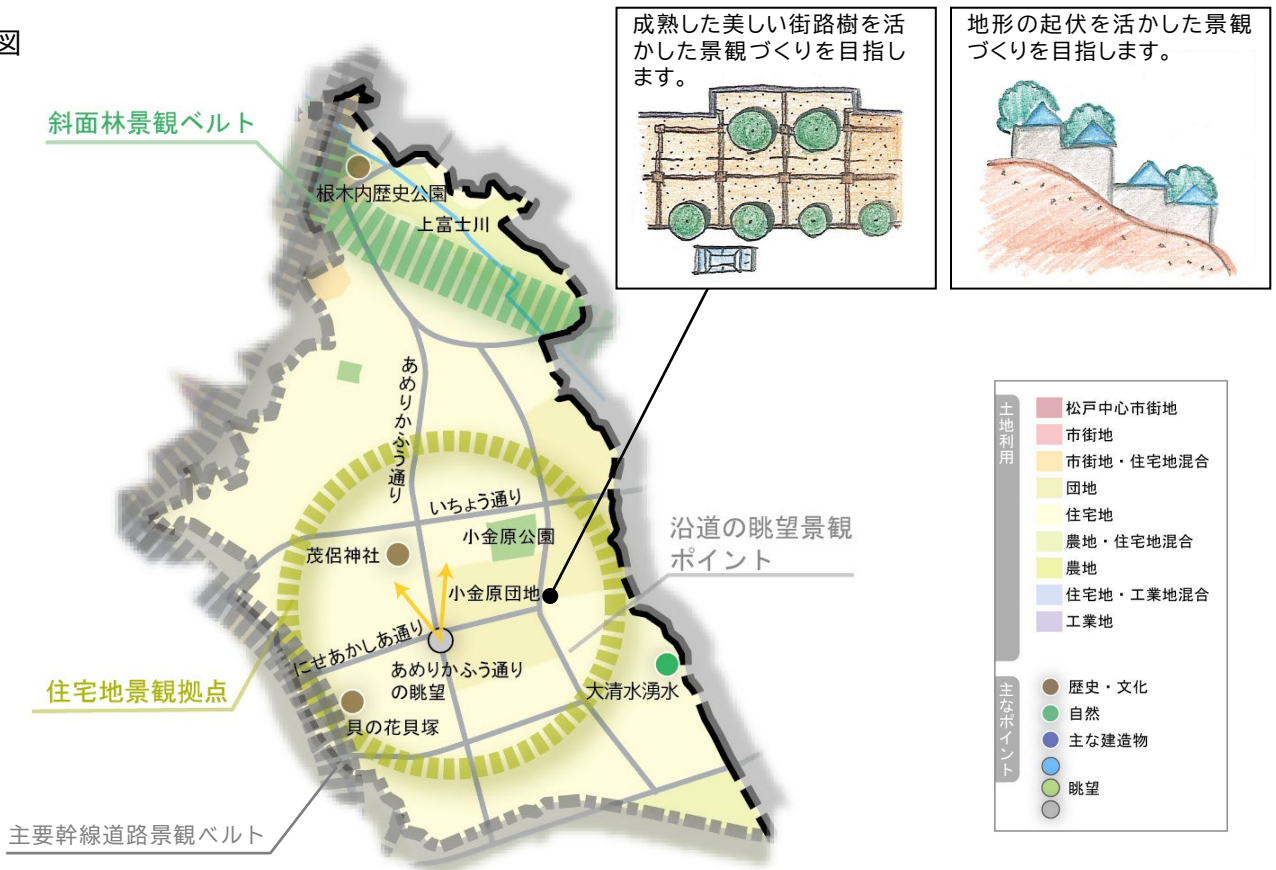
【事業者】

- ・ 事業内容が沿道景観に与える影響を考えます。
- ・ 屋外広告物の掲出ルールを守ります。

【行政】

- ・ 根木内歴史公園は、歴史を学び自然とふれあえる公園にします。
- ・ 成熟した街路樹を美しく維持しより良いものにします。
- ・ 景観づくりのルールを検討します。
- ・ 市民の景観づくりに関する活動を支援します。

図



■景観拠点[住宅地景観拠点－小金原団地一帯]

5層程度の中層住宅が連続する小金原団地は、サクラ・ケヤキ・アメリカフウ・ニセアカシアなどの多種の街路樹や、小金原公園などのみどりが豊富で全体として落ち着いた住宅地景観を形成しています。こうしたことから、みどりの資源を保全するとともにそれらの資源を活かした景観づくりに努めます。

一方、高低差のある地域のため、高齢化の進展に伴うバリアフリー対応など新しい課題を抱えている地域でもあります。



景観づくり方針

●地形を活かした住宅地や商業地、沿道などが調和する豊かな景観づくり

考え方	行動方針
● 成熟した地域のみどりを育む担い手の輪をつなげます。	1)-⑨みどりの景観づくりのための担い手の輪をつなげよう
● 過剰な屋外広告物や夜間照明を規制するルールを検討します。	3)-③景観を阻害する屋外広告物、工作物等を規制しよう
● 環境保全やまちづくりなど景観に関わる多様な市民活動を支援します。	5)-③景観づくりに取組む市民活動を支援しよう

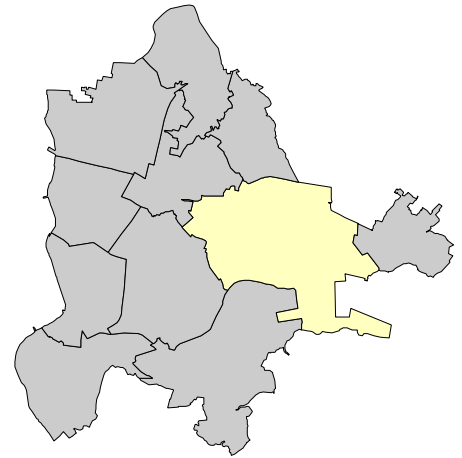
(9) 常盤平地域

1) 概況、特性

本地域の中央部には、5 層程度の中層住宅が連続する常盤平団地があり、けやき通り・さくら通り・金ヶ作公園のみどりと団地内の樹木が立派に成長し、春にはさくらまつりが開催され、市民の憩いの空間となっています。街路樹の大きく育った道路が多いことから、車窓から眺める景観が地域の景観を印象づけているといえます。幹線道路は見通しが良く、移動しながら豊かな眺望景観を楽しめます。

北西部には、斜面林、谷津、湿地などの自然資源が残された「21 世紀の森と広場」があり市民の憩いの場として親しまれています。

また、本市の中央部にある新八柱駅、八柱駅は鉄道駅の結節点であることから、それにふさわしいにぎわいがあります。常盤平駅周辺は日用品をそろえた個人店やスーパーなどが住宅地と連続したまち並みを形成しており、親しみのある駅前の商業核を形成しています。南東部には松飛台工業団地があり、敷地内の緑化により地域にうるおいを供している例があります。



分類	景観要素
自然（水とみどり）	21 世紀の森と広場、子和清水、金ヶ作公園など
歴史・文化	徳蔵院など
まちなか・営み	森のホール 21・博物館、さくらまつりなど
まち並み・眺望	常盤平団地の星型住宅、けやき通り、さくら通り、広場の橋から見る眺望、松飛台工業団地など

2) 課題

常盤平団地では、閑静な住宅地にふさわしい節度あるにぎわいの景観を創出することにより、地域住民の暮らしやすさの満足度を高めていくことが求められます。みどりの資源を保全するとともにそれらの資源を活かした景観づくりが望まれます。

また、「21 世紀の森と広場」周辺は、松戸市都市計画マスタープランで「文化交流拠点」に位置づけられています。こうしたことから、それを核とし、文化や芸術の香り高い周辺地域の景観づくりが望まれます。

そして、新八柱駅、八柱駅は景観資源への玄関口であることから、駅と景観資源を結ぶみどりのネットワーク化により連続的な景観づくりが望まれます。今後は沿道の商業施設等が掲出する屋外広告物やマンションなどの大規模建築物に対するルールづくりを進めて規制誘導を図るなど、みどりと調和した豊かな沿道景観づくりが望まれます。

3) 景観づくり方針

考え方	行動方針
● 豊かなみどりを活かした景観づくりを目指します。	1)-②みどりのはたらきを活かす景観づくりをしよう
● さくら通りやけやき通りなどの成熟した街路樹は地域のシンボルとして守り育てます。	1)-③骨格となるみどりの景観を守ろう
● 松飛台工業団地は、敷地にみどりを増やしたり、看板等の工夫など、事業者と協働により工業地景観の向上を図ります。	1)-⑧みどりの多いまち並みにしよう
● 21世紀の森と広場や博物館、森のホール 21 等の入り口周辺は、魅力ある景観づくりを行います。	2)-②景観に芸術という空間構成を取り入れよう
● 地域の歴史や文化を学び、伝えます。	2)-⑥松戸の歴史や文化に触れられる社会を増やそう
● 芸術・文化の中心となる景観づくりに努めます。	2)-⑦芸術を感じ景観に取り入れよう
● うるおいとにぎわいが連続する景観づくりをします。	3)-①パブリックな空間を活かしてにぎわいが連続する景観づくりをしよう
● 森の橋、広場の橋からのみどりのスカイラインを眺望景観として保全します。	4)-②優れた眺望景観を確保しよう
● 北千葉道路及び千駄堀地区周辺など土地利用が転換される場合は、周辺環境との調和に努めます。	1)-⑧みどりの多いまち並みにしよう

●景観づくりに参加しましょう（下記は一例。進め方は P90～P94 を参照）

【市民】

- ・ 敷地境界には生垣を配植するなど、街にうるおいを与えます。
- ・ 玄関前やバルコニーに植栽を施し、街にうるおいを与えます。
- ・ 祭事などに参加して、地域の歴史や文化を後世に伝えます。

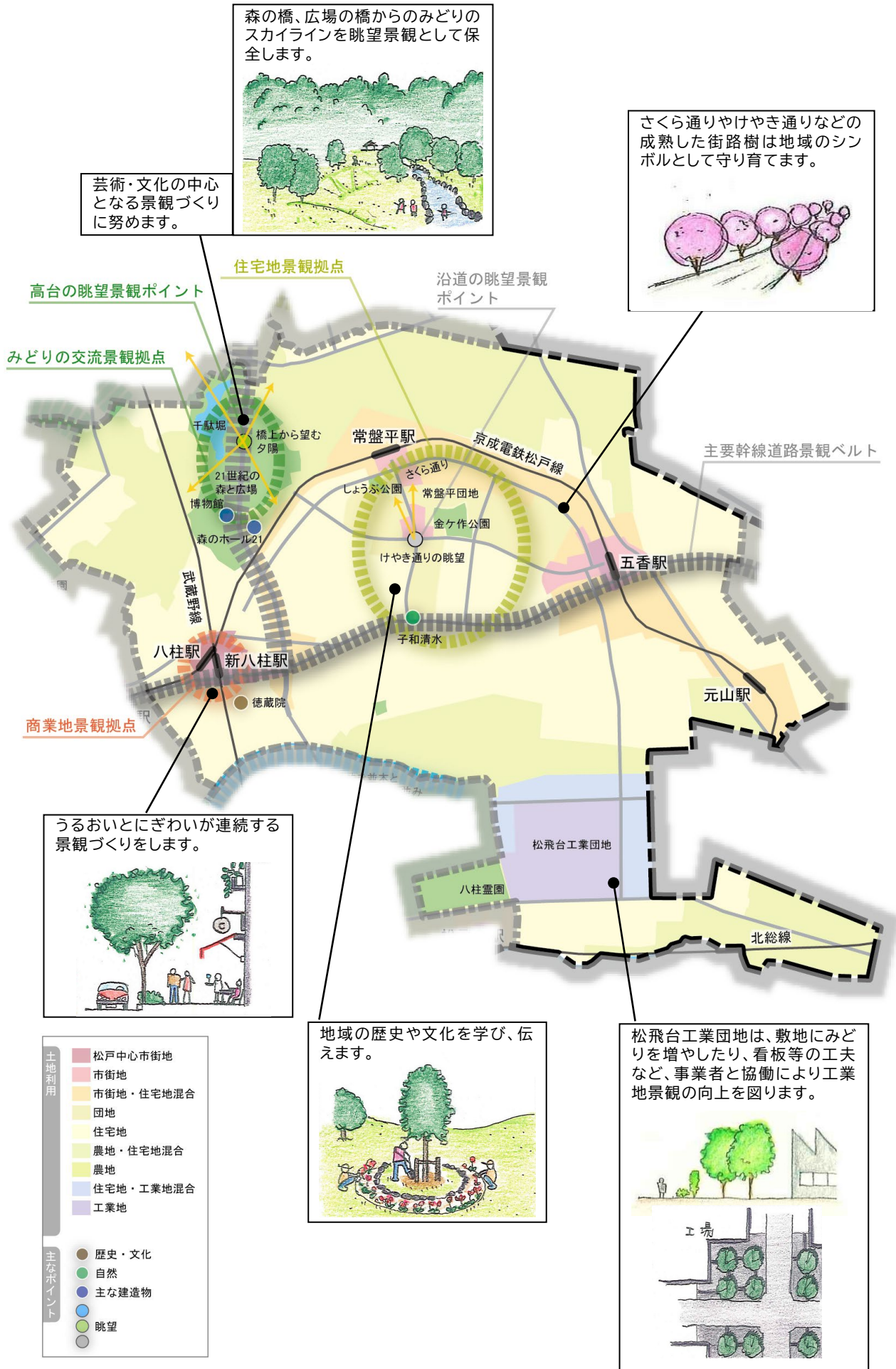
【事業者】

- ・ 事業内容が沿道景観に与える影響を考えます。
- ・ 屋外広告物の掲出ルールを守ります。
- ・ 街に憩いと安らぎを与えるベンチやテーブル、植栽などを提供するスペースを設けます。

【行政】

- ・ 21 世紀の森と広場のみどりや生き物の生育環境を保全育成し後世に残します。
- ・ 成熟した街路樹を美しく維持しより良いものにします。
- ・ 景観重要公共施設の指定を検討します。
- ・ 芸術・文化の交流拠点づくりに取り組みます。

図



■景観拠点[みどりの交流景観拠点－21 世紀の森と広場]

市のほぼ中央部に位置する 21 世紀の森と広場の計画コンセプトは「千駄堀の自然を守り育てる」であり、公園は斜面林、谷津、湿地などの自然資源が残された千駄堀地区にあります。特に湧水を活用した千駄堀池は 3 つの湧水の流れが合流する場所にあり、公園周辺には大きな農家も建ち並び里山の景観も見ることができ、みどりに満ち溢れた自然の宝庫となっています。

公園を貫く道路（橋）からは雄大な夕焼け等を見ることができます。空を遮るような建物もなく自然とふれあい楽しむことができる場所として、散策や健康づくりに利用する市民の方も多く、親しまれている公園です。また、園内にあるパークセンターは、公園情報の発信・自然学習・みどりの相談所として機能している施設です。その他、森のホール 21 や博物館などの公共施設と合わせて、多様な「自然」、「レクリエーション」、「文化」活動に利用され市内外から多くの人々が訪れています。

今後も自然の中で学び、遊べるみどりの交流景観拠点として、景観づくりの普及啓発を進め育むとともに、貴重なみどりや水辺、鳥類など多くの生き物の生育環境を保全育成し、みどりのスカイラインを維持するなど、みどりの保全を基本とした景観の形成を図ります。



広場の橋から望む 21 世紀の森と広場



博物館

景観づくり方針

●自然を尊重したみどり、文化の景観づくり拠点の創出

考え方	行動方針
● 自然の中で学び、遊べる環境づくりを行います。	1)-⑩自然のなかで学び、遊べる環境を創ろう
● 森の橋、広場の橋からの眺望景観を保全します。	4)-⑧視点場からの眺めに配慮した建物の高さや外観のあり方を考えよう
● 21 世紀の森と広場のパークセンターは、みどりの情報発信基地として啓発活動を行います。	4)-⑪景観性の高い施設を活かし人の交流をつくろう

■景観拠点[商業地景観拠点－新八柱駅・八柱駅周辺]

本市の中央部にある新八柱駅、八柱駅は鉄道駅の結節点であることから、それにふさわしいにぎわいがあります。

また、「21世紀の森と広場」や「八柱霊園」、日本の道100選に選ばれた「さくら通り」などの景観資源への玄関口でもあることから、オープンスペースを活用したポケットパークやオープンガーデン、市民の庭づくりなどにより、駅と景観資源をみどりで結ぶ連続的な景観づくりを図ります。



八柱駅前

景観づくり方針

●景観阻害要因の改善による、安全で安心して過ごせる秩序あるまちなかの景観づくり

考え方	行動方針
● 過剰な屋外広告物や夜間照明を規制するルールを検討します。	3)-③景観を阻害する屋外広告物、工作物等を規制しよう
● 分かりやすい公共サインのあり方を検討します。	3)-④公共の案内板・サイン等は見やすく理解しやすい工夫をしよう
● ゴミの集積所のあり方を工夫します。	3)-⑤ゴミ集積場のあり方を考えよう
● 周辺環境に調和する大規模建築物の形態、意匠、色彩等のルールを検討します。	4)-④周辺環境に調和する大規模建築物のルールをつくろう
● 文化施設へのアプローチにおいては、景観を阻害する建造物に対する指導を行います。	4)-⑦景観を阻害する建造物を改善しよう
● 駅周辺のオープンスペース等の活用により、うるおいとにぎわいの創出に努めます。	5)-①未利用地の活用をすすめよう

■景観拠点[住宅地景観拠点－常盤平団地一帯]

5 層程度の中層住宅が連続する常盤平団地は、けやき通り（新・日本街路樹百景）・さくら通り（日本の道 100 選）・金ヶ作公園のみどりと団地内に大きく成長した樹木とのバランスも取れ、豊富なみどりの資源が全体として落ち着いた住宅地景観を形成しています。また、住棟の間の芝生や植栽は適度に管理され、園芸に興味のある住民による植栽も地域にうけるおいを与えています。こうしたことから、みどりの資源を保全するとともにこれらの資源を活かした景観づくりに努めます。

常盤平団地には、日当たりとプライバシーの確保を主な目的に Y 字型に 3 戸を配し交差する中央部分に階段室を設けた星型住宅と呼ばれる建物があり、とすると単調な景観になりがちな団地景観にアクセントを与えています。

団地内には施設の老朽化という課題はあるものの日常品を扱う商店街や比較的規模の大きい都市公園が整備されています。

一方、駐車場不足による路上駐車や建物の老朽化、バリアフリー対応など高齢化の進展とともに、さくら通りのソメイヨシノは寿命が近づきつつあり 若木への更新を含めた保全策を必要とするなどの課題を抱えている地域でもあります。

なお、松戸市立博物館には、昭和 30 年代にタイムスリップさせた状態で復元した「都市へのあゆみ」というコーナーがあり、当時の団地生活を再現しています。



常盤平のけやき通り



常盤平のさくら通り

景観づくり方針

●地形とみどりを活かした住宅地や商業地、沿道などが調和する豊かな景観づくり

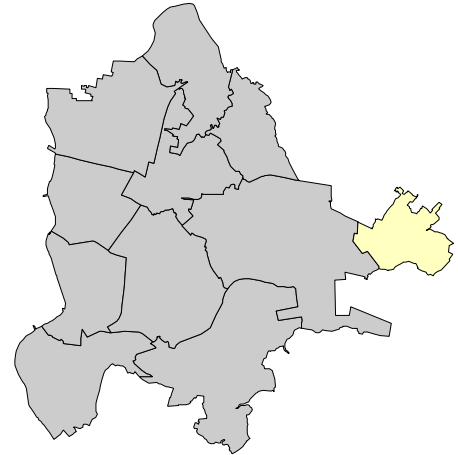
考え方	行動方針
● 成熟した地域のみどりを育む担い手の輪をつなげます。	1)-⑨みどりの景観づくりのための担い手の輪をつなげよう
● 環境保全やまちづくりなど景観に関わる多様な市民活動を支援します。	5)-③景観づくりに取り組む市民活動を支援しよう

(10) 六実地域

1) 概況、特性

本地域のほぼ全域が平坦な地形となっています。観光梨園を中心とした農地が多く、収穫の季節になると観光客が訪れます。地域内には農地が残されていますが、都市化の進展に伴い農地や樹林地などの自然は少なくなっています。

また、本地域の県道を挟んだ北側は、昭和 40 年代の区画整理事業により生まれた成熟した住宅地であり、庭の木々も成長し、六高台のさくら通りでは桜まつりも行われ、きれいな景観を生んでいる地域です。大きな屋敷と屋敷林が残っている場所もあります。



分類	景観要素
自然（水とみどり）	六実中央公園など
歴史・文化	野馬除土手、たかお神社など
まちなか・営み	六実駅周辺、桜まつり、観光梨園など
まち並み・眺望	さくら通りなど



六実駅



さくら通り

2) 課題

六実地区は、観光梨園や街路樹などの貴重なみどりを保全し、地域の特徴として景観づくりに活かしていくことが望まれます。

また、民有地の生垣などのみどりや屋敷林は、まちなかに貴重なみどりの景観を提供しており、所有者の意向を汲みながら保全していくことが求められます。

3) 景観づくり方針

考え方	行動方針
● 屋敷林などの貴重なみどりを保全し、地域の大切な景観として活かします。	1)-②みどりはたらきを活かす景観づくりをしよう
● さくら通りの成熟した街路樹は、地域のシンボルとして守り育てます。	1)-③骨格となるみどりの景観を守ろう
● 地域の歴史や文化を学び伝えます。	2)-⑥松戸の歴史や文化に触れられる社会を増やそう
● 観光梨園等は、サインなどの掲出物に景観的な配慮が望まれます。	3)-④公共の案内板・サイン等は見やすく理解しやすい工夫をしよう

●景観づくりに参加しましょう（下記は一例。進め方は P90～P94 を参照）

【市民】

- ・ 敷地境界には生垣を配植するなど、街にうるおいを与えます。
- ・ 祭事などに参加して、地域の歴史や文化を後世に伝えます。

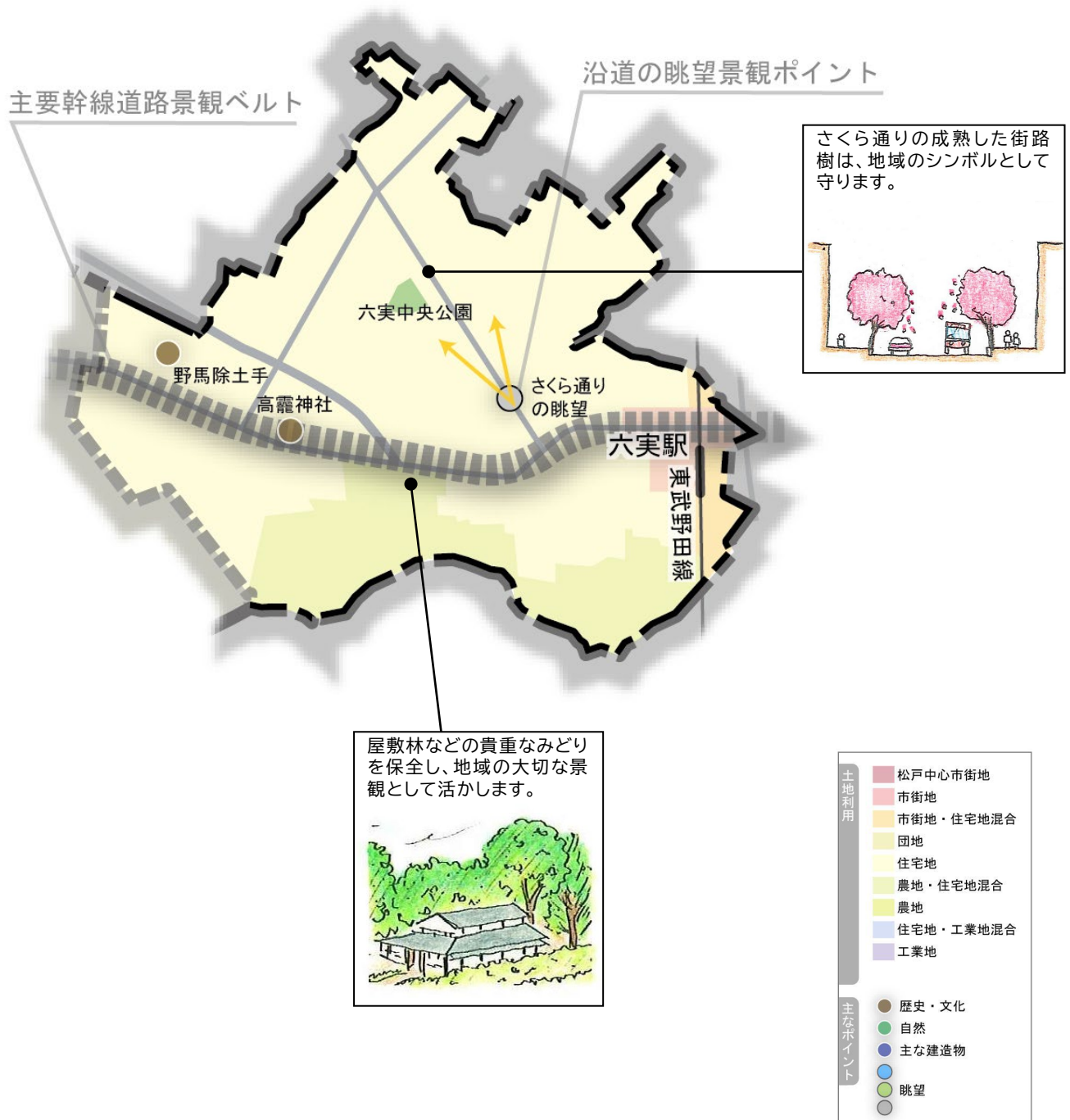
【事業者】

- ・ 事業内容が沿道景観に与える影響を考えます。
- ・ 屋外広告物の掲出ルールを守ります。

【行政】

- ・ 成熟した街路樹を大切にします。
- ・ 市民の景観づくりに関する活動を支援します。

図



(11) 東部地域

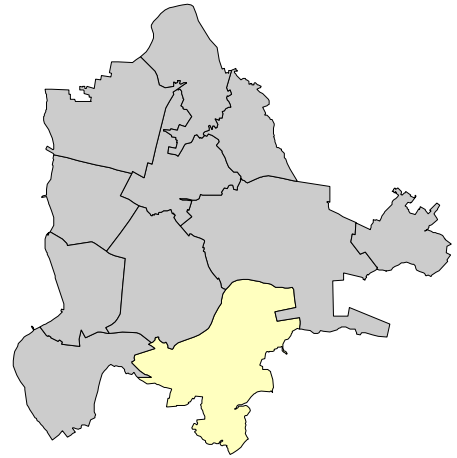
1) 概況、特性

本地域の台地部では、自然的な土地利用や観光梨園などの農地が多くを面積を占めています。地域の南部に位置する農地の多くは生産緑地地区に指定され、多くの観光梨園が集まっています。

また、周辺に広がる市街化調整区域では、大根やねぎなどが盛んに生産されています。

北側の低地部には国分川、春木川、紙敷川が流れ、田園や自然環境が残る地域です。なかでも国分川では、浸水被害の解消とうるおいのある水辺空間づくりのため多自然型の河川改修が行われました。八柱霊園は、園内に大規模な樹林や公園的空間を有しており、北側の参道沿いには、石材店などが建ち並び、特徴ある景観を形成しています。

北総線の東松戸駅、秋山駅、松飛台駅周辺では、地区計画を導入した新たな市街地整備が行われました。また、「花」を通して市民一人ひとりが「結ばれる」といった思いを込めた「東松戸ゆいの花公園」では、花を育てるボランティアの皆さんがまちづくりに貢献しています。



東松戸ゆいの花公園

分類	景観要素
自然（水とみどり）	八柱霊園、国分川、春木川、紙敷川、ゆいの花公園など
歴史・文化	河原塚古墳、廣龍寺、本源寺など
まちなか・営み	東松戸駅、秋山駅、松飛台駅周辺、八柱霊園の石材店、観光梨園など
まち並み・眺望	八柱霊園のけやき並木と石材店など

2) 課題

国分川流域では、生物の良好な生息環境や親水性に配慮するため多自然型護岸による河川改修を進め、周辺農地、斜面林の保全を図るとともにみどり豊かな景観づくりが求められます。一部の遊休地では、資材置き場に変更するなど景観阻害要因となっている例が見られることから、空間を閉鎖する塀やフェンスは避け、緑化などの景観的な工夫が求められます。また、八柱霊園内の樹林や公園的空間を有効に活用し歩道の整備や緑化が望まれます。

3) 景観づくり方針

考え方	行動方針
●農地と住宅地が調和する景観づくりを目指します。	1)-②みどりのはたらきを活かす景観づくりをしよう
●生物の良好な生息環境や親水性に配慮した、みどり豊かな景観づくりを目指します。	1)-⑦みどりと水のつながりを創っていこう
●地域の歴史や文化を学び、伝えます。	2)-⑥松戸の歴史や文化に触れられる社会を増やそう
●八柱霊園の参道は、特徴あるまち並み景観を大切にします。	3)-②生活感あふれる空間を活かした景観づくりをしよう
●観光梨園等は、サインなどの掲出物に景観的な配慮が望まれます。	3)-④公共の案内板・サイン等は見やすく理解しやすい工夫をしよう
●周辺環境に調和する大規模建築物の形態、意匠、色彩等のルールを検討します。	4)-④周辺環境に調和する大規模建造物のルールをつくろう
●北総線の3駅及び北千葉道路周辺で土地利用が転換される場合は、周辺環境との調和に努めます。	1)-⑧みどりの多いまち並みにしよう 3)-⑥みんながいつも安心できる景観づくりを進めよう

●景観づくりに参加しましょう（下記は一例。進め方はP90～P94を参照）

【市民】

- ・敷地境界には生垣を配植するなど、街にうるおいを与えます。

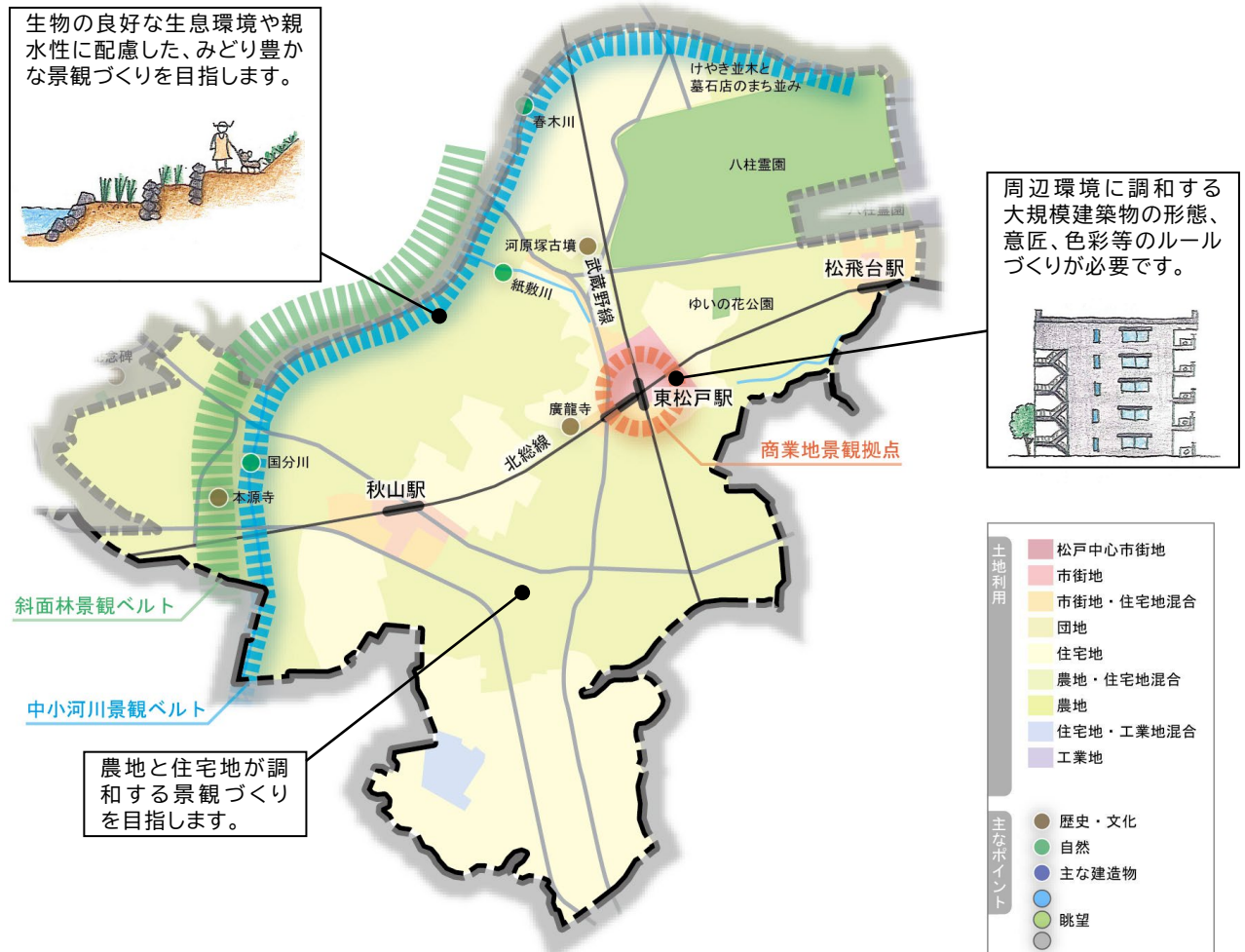
【事業者】

- ・屋外広告物の掲出ルールを守ります。

【行政】

- ・東松戸ゆいの花公園をみどりの情報発信基地として活用します。
- ・国分川を再生し自然の生態系を次世代に継承します。

図



■景観拠点[商業地景観拠点－東松戸駅周辺]

東松戸駅は JR 武蔵野線と北総線が交差する東部地区の拠点であり、計画的なまちづくりが進行しています。近年、駅周辺は、中高層のマンションの建設などの市街化が進んでおり、敷地内の立体駐車場や緑化、色彩や素材を周辺景観に調和したデザインにするなどの景観的な配慮により、魅力あるまち並みを創出していくことが求められます。

また、通りの魅力を創出するために市民が手入れをして演出する空間づくりを進めることにより、活性化を図っていくことも大切です。



市街化が進む東松戸駅前

景観づくり方針

●新しい商業地拠点として、みどりのうるおいとにぎわいが調和した計画的な景観づくり

考え方	行動方針
● 過剰な屋外広告物や夜間照明を規制するルールを検討します。	3)-③景観を阻害する屋外広告物、工作物等を規制しよう
● 分かりやすい公共サインのあり方を検討します。	3)-④公共の案内板・サイン等は見やすく理解しやすい工夫をしよう
● ゴミの集積所のあり方を工夫します。	3)-⑤ゴミ集積場のあり方を考えよう
● 周辺環境に調和する大規模建築物の形態、意匠、色彩等のルールを検討します。	4)-④周辺環境に調和する大規模建築物のルールをつくろう
● 駅周辺のオープンスペース等の活用により、うるおいとにぎわいの創出に努めます。	5)-①未利用地の活用をすすめよう
● 新たな居住者などを含めた市民参加による景観づくりを支援します。	5)-③景観づくりに取組む市民活動を支援しよう